

山鹿市総合戦略等に関する
市民アンケート調査結果
(概要版)

令和6年3月

山鹿市総合戦略課

市民アンケート調査の概要

1. アンケート調査の目的

総合戦略は、年度ごとの進捗管理を行い、適宜変更、見直しを行いながら目標の達成を目指している。進捗管理の中で、担当課による内部検証とあわせ、市民の認知度や満足度を把握し、次年度以降の戦略に反映させることを目的としている。

2. 調査対象

山鹿市在住の市民から無作為に抽出した3,000人

3. 調査事項

- (1)ご自身の現在の状況について(問1～問5)
- (2)山鹿市の現状について(問6～問9)
- (3)人口政策について(問10～問11)
- (4)経済政策について(問12～問13)
- (5)山鹿市総合計画について(問14～問15)
- (6)山鹿市に対する考えについて(問16～問20)

4. 調査期間

令和6年1月9日(火)～1月31日(水)

5. 調査方法

郵送による調査票の配布

郵送またはインターネットによる回答

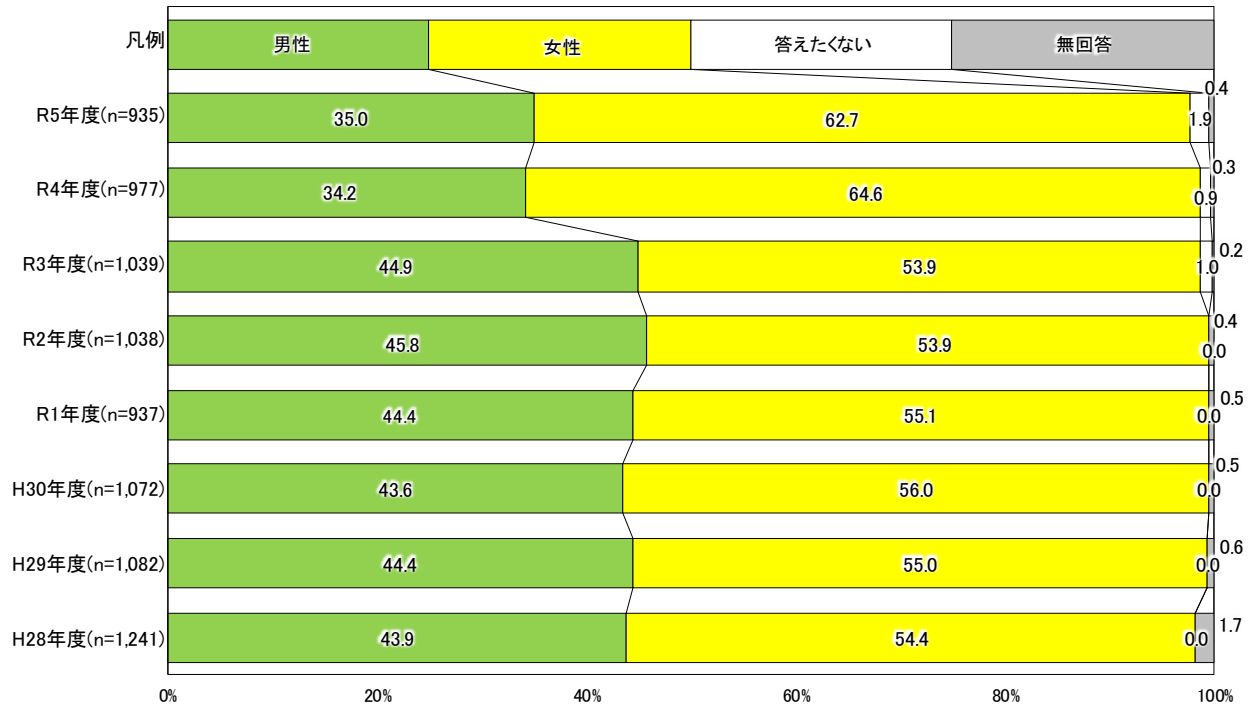
6. 回収状況

回答方法	配布部数	有効回収数	有効回収率
郵送	3,000	699	23.3%
インターネット		236	7.9%
計	3,000	935	31.2%

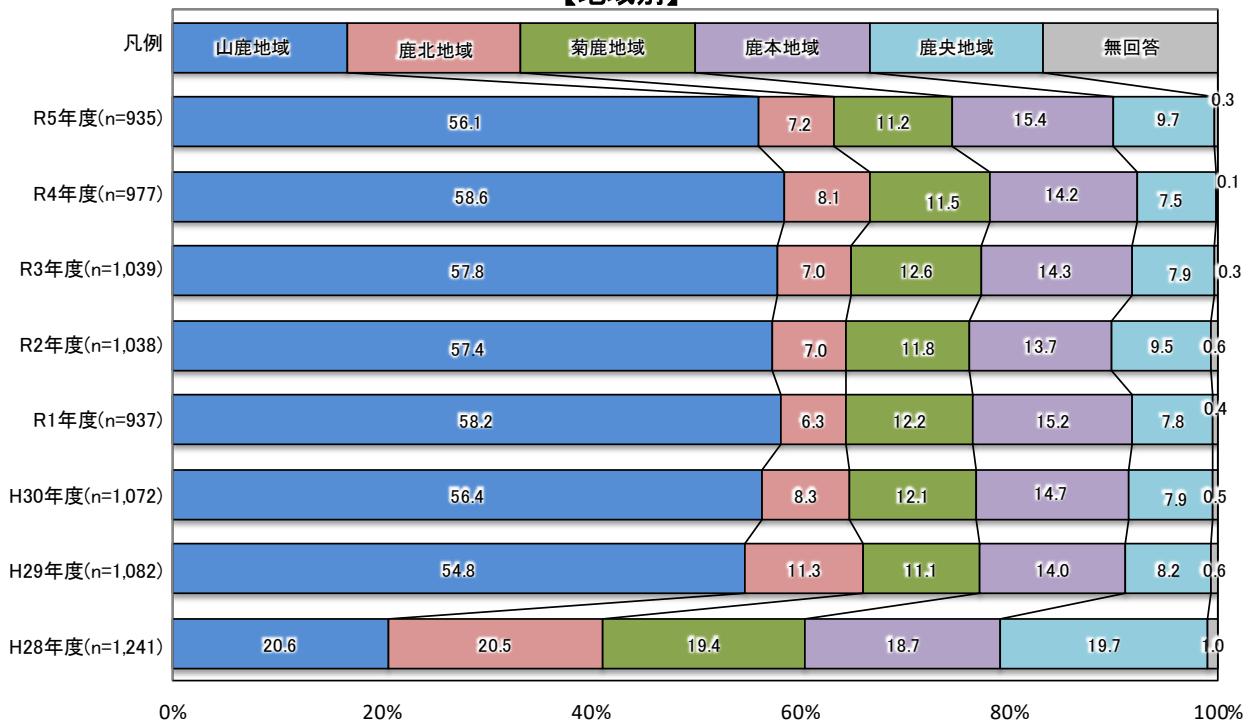
回答者ご自身の現状

- ・ 回答者の性別割合は、「男性」が35.0%、「女性」が62.7%となっている。R4年度と比較してもほとんど変わらない。
- ・ 居住地域別では、「山鹿地域」が56.1%と最も高い。
- ・ 過去調査と比較した地域別構成比は、H29年度以降ほとんど変わらない。

【性別】



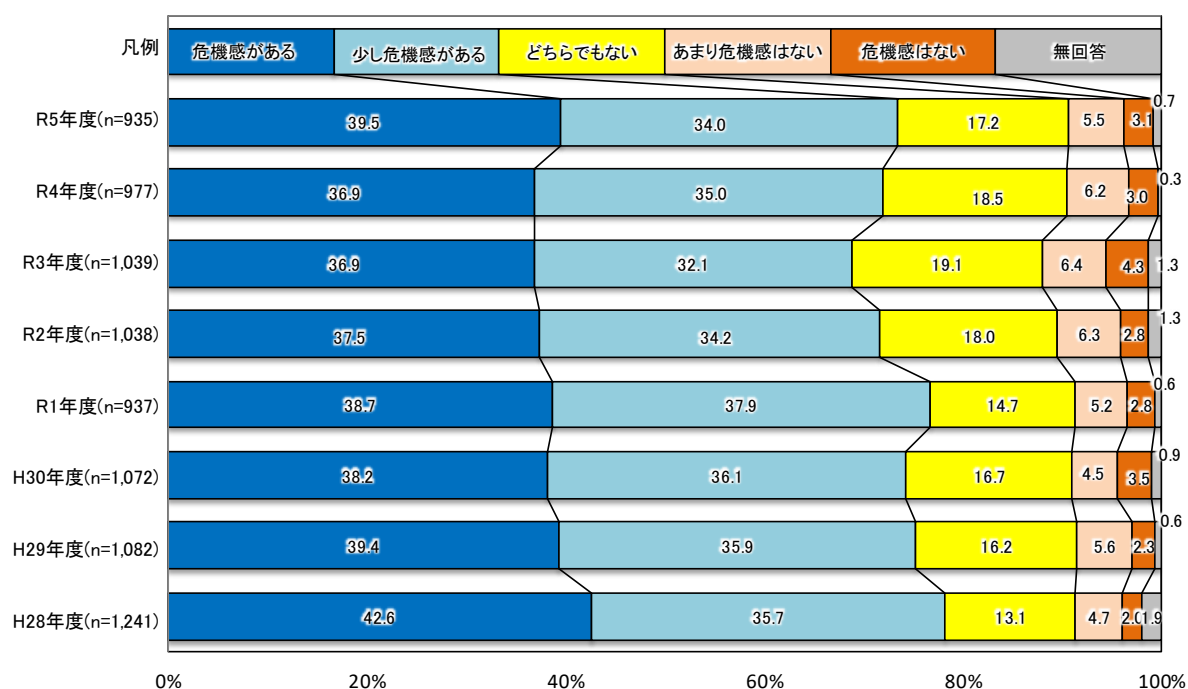
【地域別】



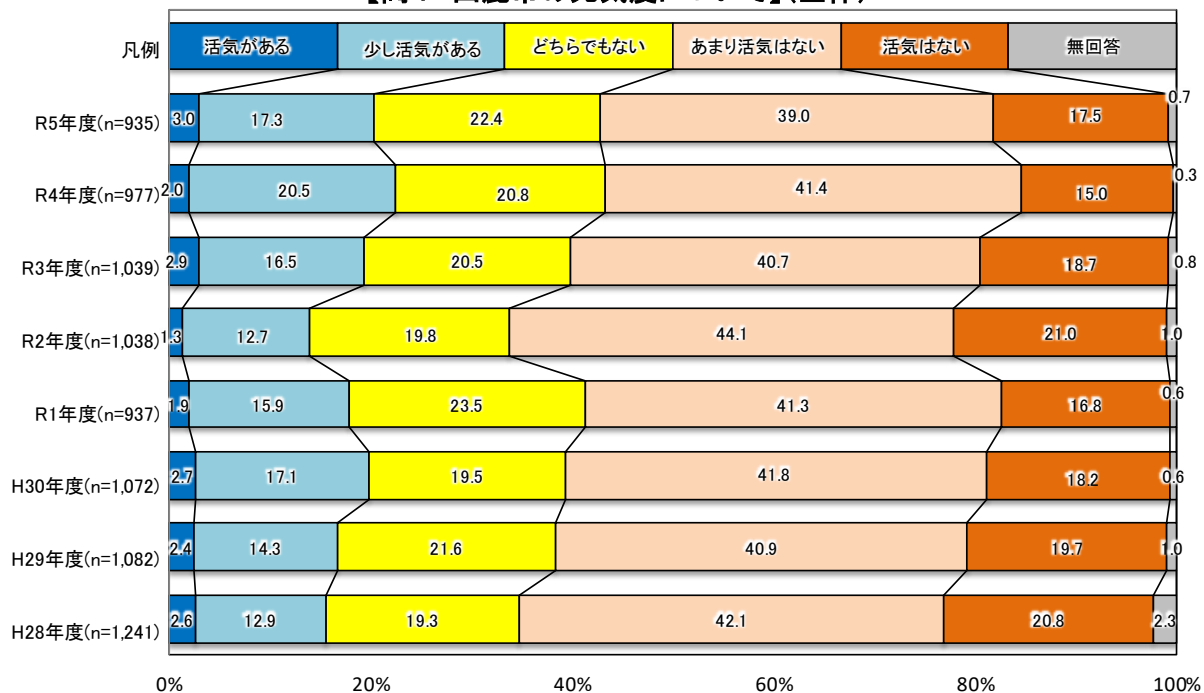
山鹿市の現状について（人口減少、元気度）

- ・ 山鹿市の人口減少については、「危機感がある」が 39.5%、「少し危機感がある」が 34.0%となっており、約 7 割が危機感を感じている。
- ・ 山鹿市の元気度については、「活気がある」「少し活気がある」の合計 20.3%に対し、「活気はない」「あまり活気はない」の合計は 56.5%となっており、活気がないと感じている割合が 5 割を超えて高くなっている。

【問 6 山鹿市の人口減少について】(全体)



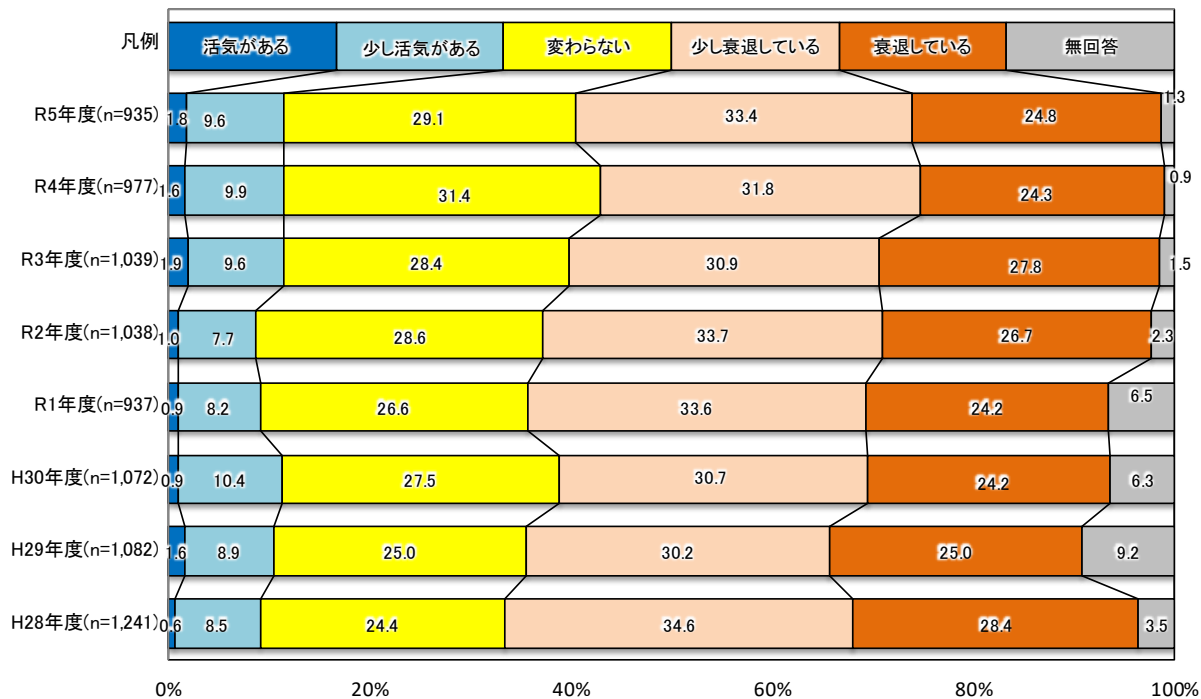
【問 7 山鹿市の元気度について】(全体)



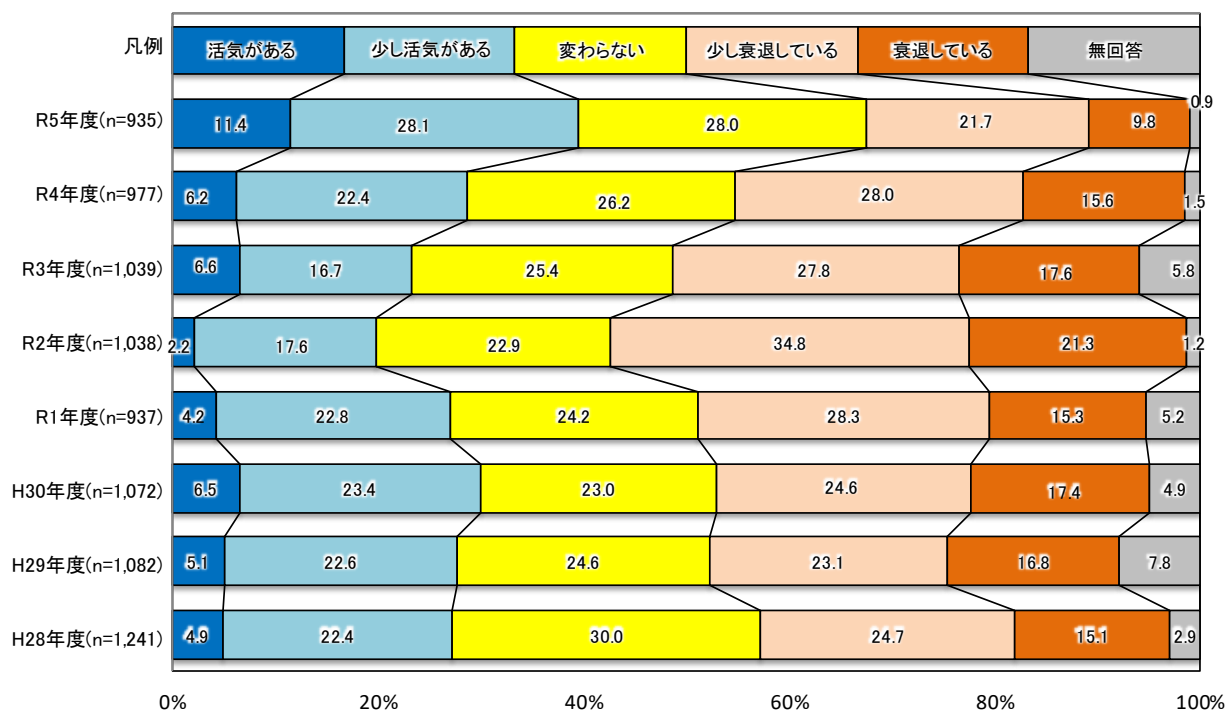
山鹿市の現状について（農林業、観光産業）

- ・ 農林業の現状については、「活気がある」「少し活気がある」の合計は 11.4%で、「衰退している」「少し衰退している」の合計は 58.2%となっている。
- ・ 観光産業の現状については、「活気がある」「少し活気がある」の合計は 39.5%となっており、R28年度以降最も高くなっている。

【問 8 山鹿市の基幹産業である農林業について現状をどう思われますか】(全体)



【問 9 山鹿市が力を入れている山鹿灯籠などの観光産業について現状をどう思われますか】(全体)

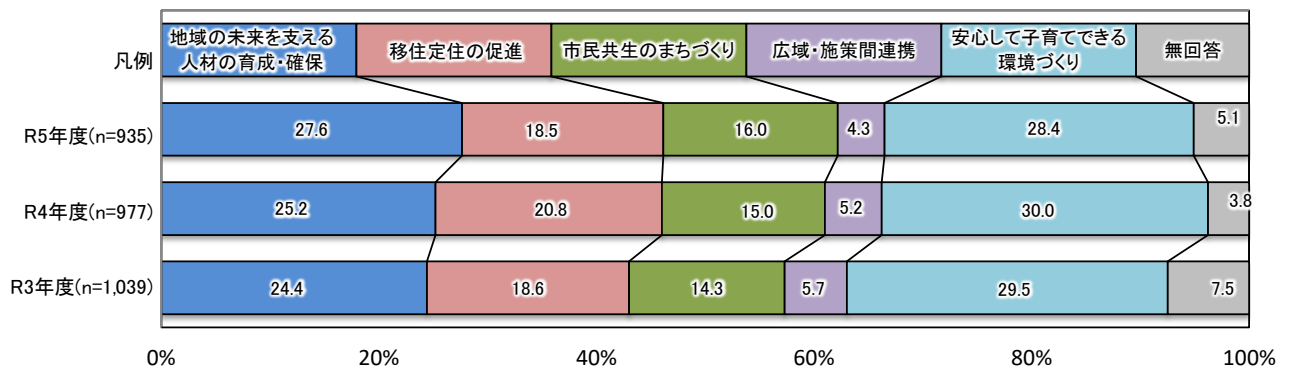


人口政策について（充実して欲しい取組）

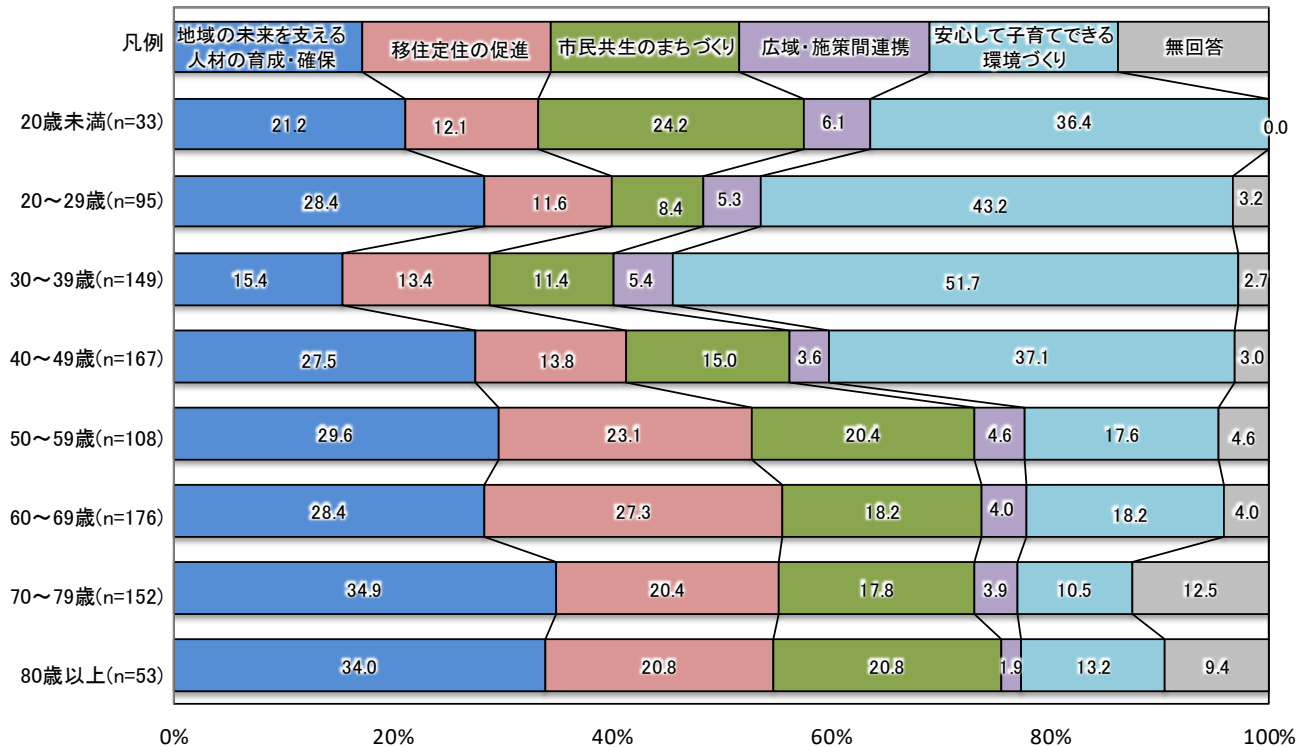
問10 山鹿市総合戦略における、人口政策でもっとも充実して欲しい取組について

- ・人口政策で充実して欲しい取組については、「安心して子育てできる環境づくり」が28.4%と最も高く、次いで「地域の未来を支える人材の育成・確保」27.6%、「移住定住の促進」18.5%となっている。R4年度と比較しても大きな差はない。
- ・年代別では、40代以下の年代では「安心して子育てできる環境づくり」の割合が最も高い。50代以降では「地域の未来を支える人材の育成・確保」の割合が最も高い。

【問10 山鹿市総合戦略における、人口政策でもっとも充実して欲しい取組について】(全体)



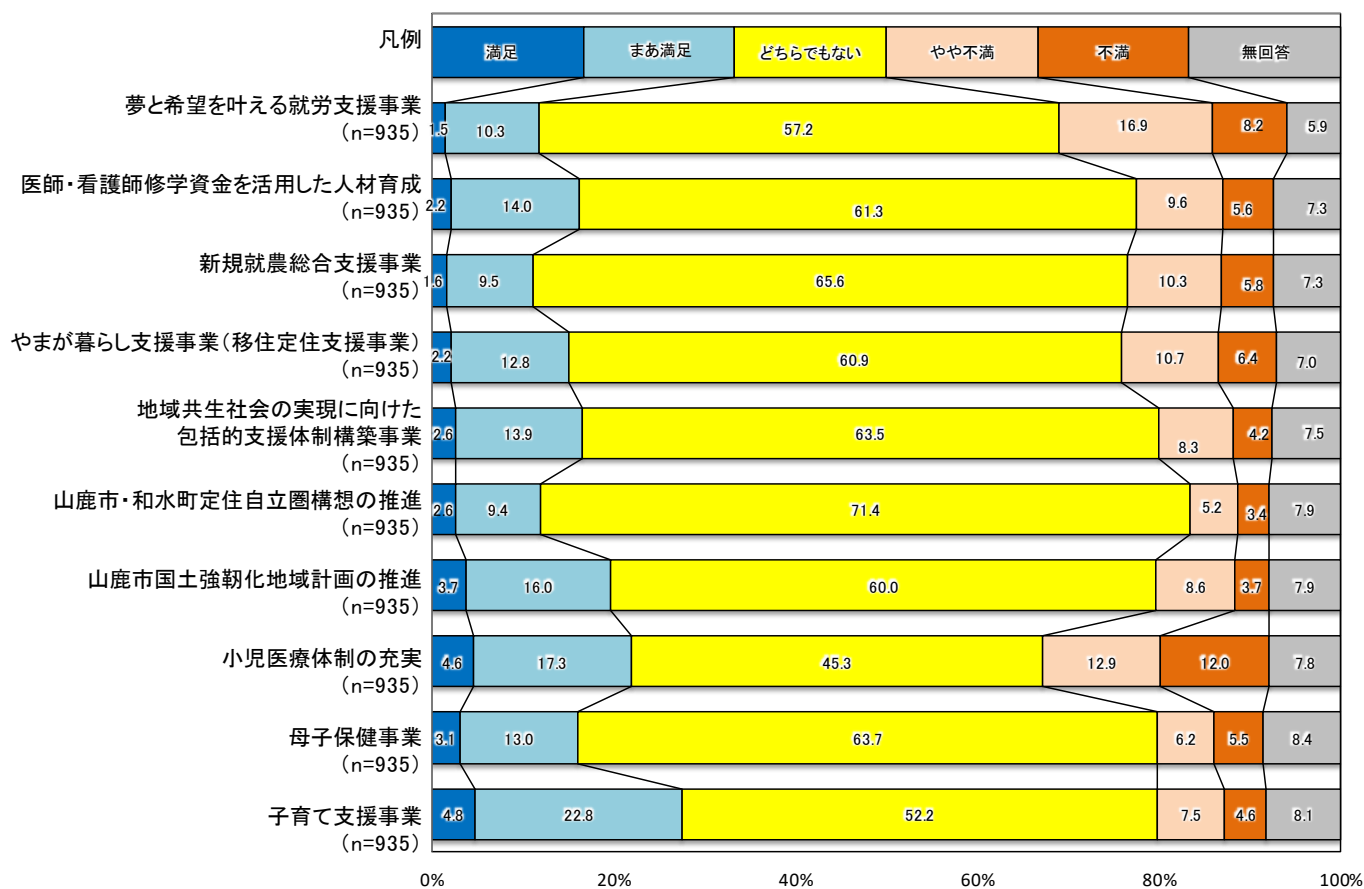
【問10 山鹿市総合戦略における、人口政策でもっとも充実して欲しい取組について】(年代別)



人口政策について（満足度と重要度）

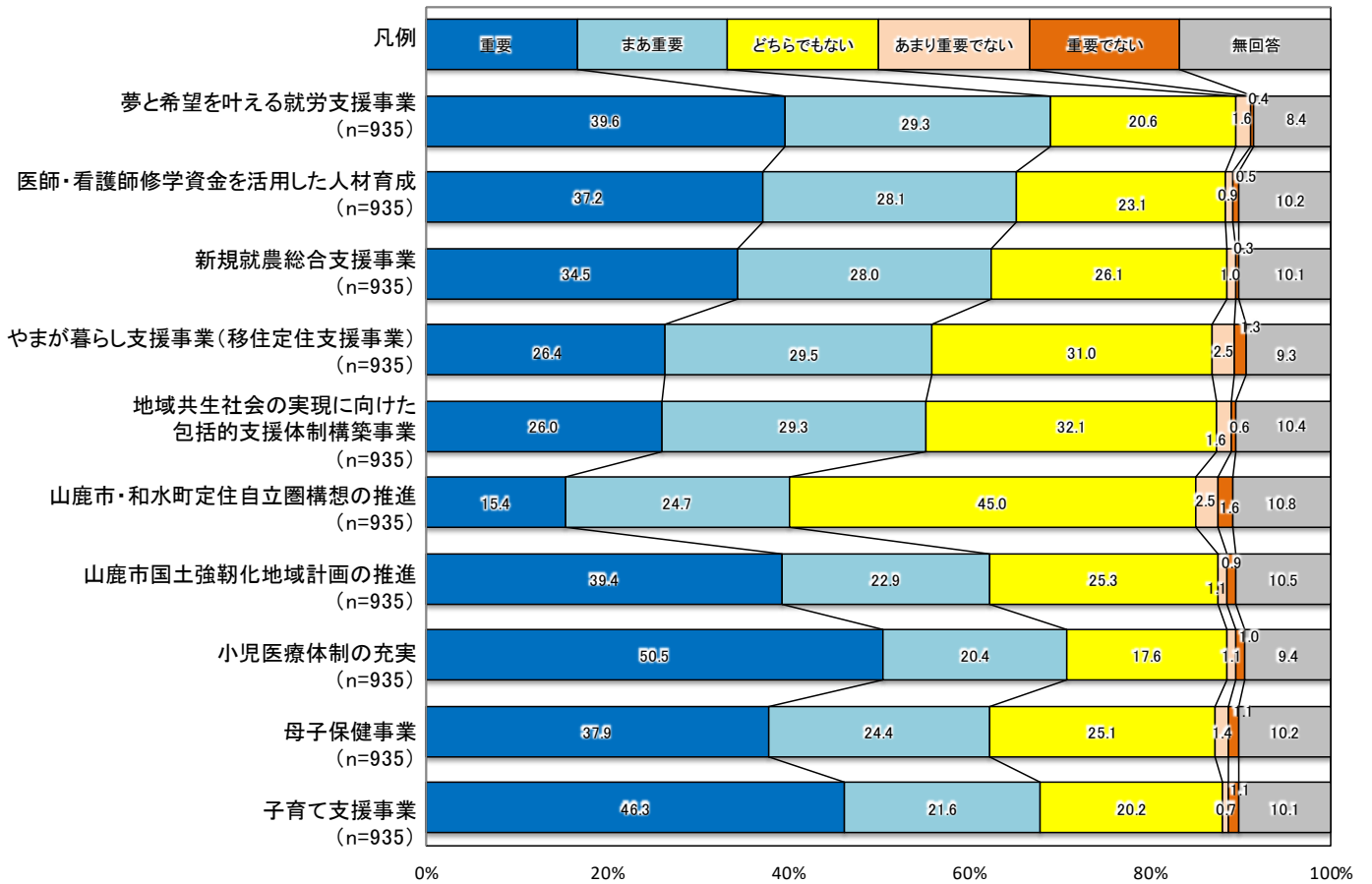
- ・ 人口政策の満足度について、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「子育て支援事業」の27.6%となっており、これに「小児医療体制の充実」21.9%、「山鹿市国土強靱化地域計画の推進」19.7%が続いている。「やや不満」「不満」の合計が最も高いのは「夢と希望を叶える就労支援事業」の25.1%となっており、これに「小児医療体制の充実」24.9%、「やまが暮らし支援事業（移住定住支援事業）」17.1%が続いている。

【問 11 山鹿市で取り組んでいる人口政策の満足度】



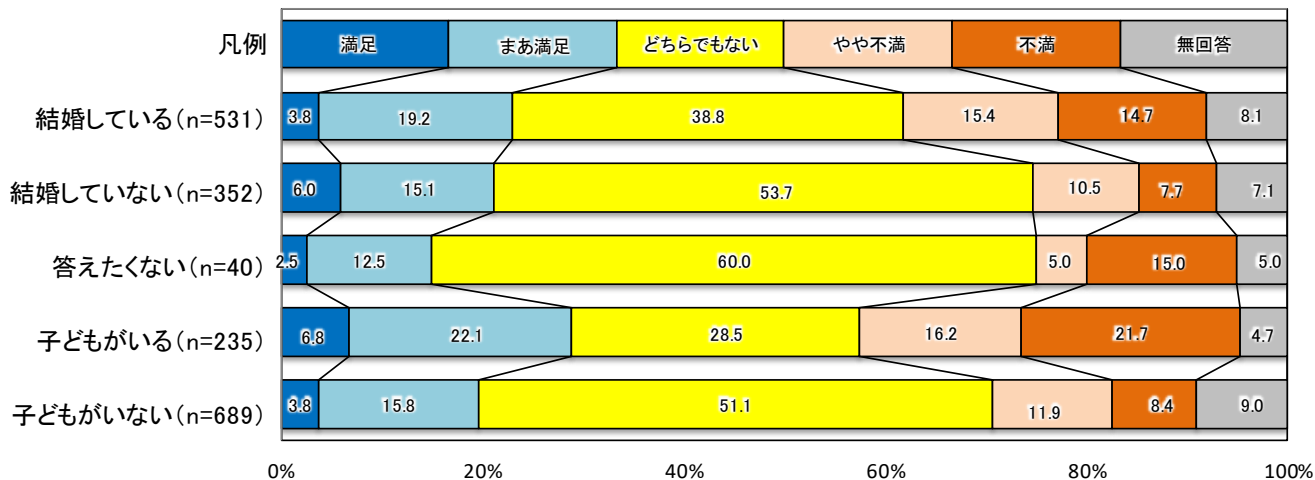
・人口政策の重要度について、「重要」「まあ重要」の合計が最も高いのは「小児医療体制の充実」の70.9%となっており、これに「夢と希望を叶える就労支援事業」68.9%、「子育て支援事業」67.9%が続いている。

【問 11 山鹿市で取り組んでいる人口政策の重要度】



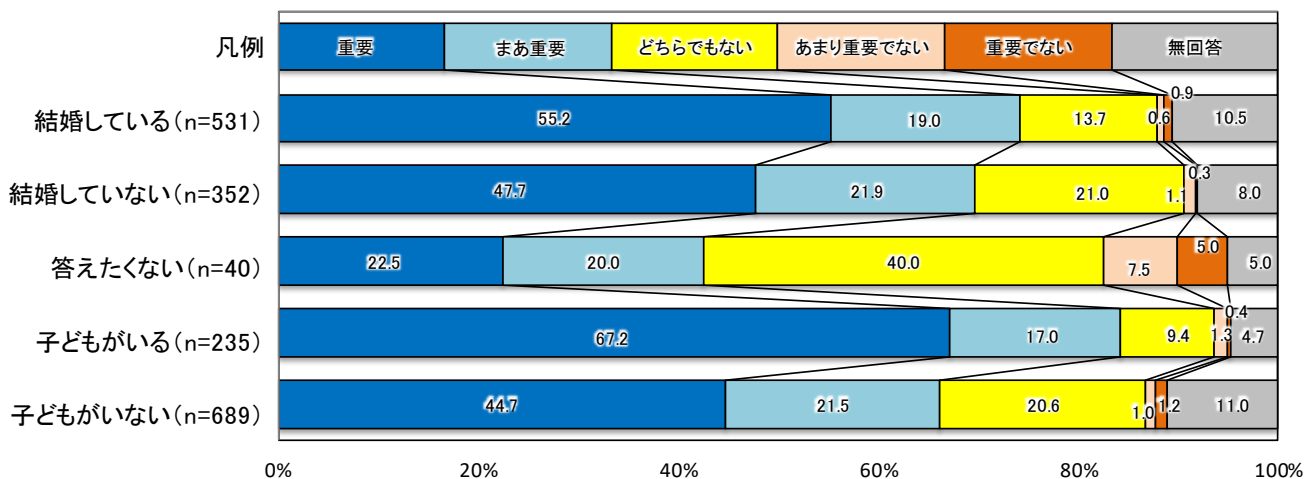
・小児医療体制の充実の満足度について、「子どもがいる」では「満足」「まあ満足」の合計が28.9%、「やや不満」「不満」の合計が37.9%と満足・不満足のどちらの割合においても最も高くなっている。「子どもがいない」では「どちらでもない」が最も高くなっている。

【小児医療体制の充実×満足度】



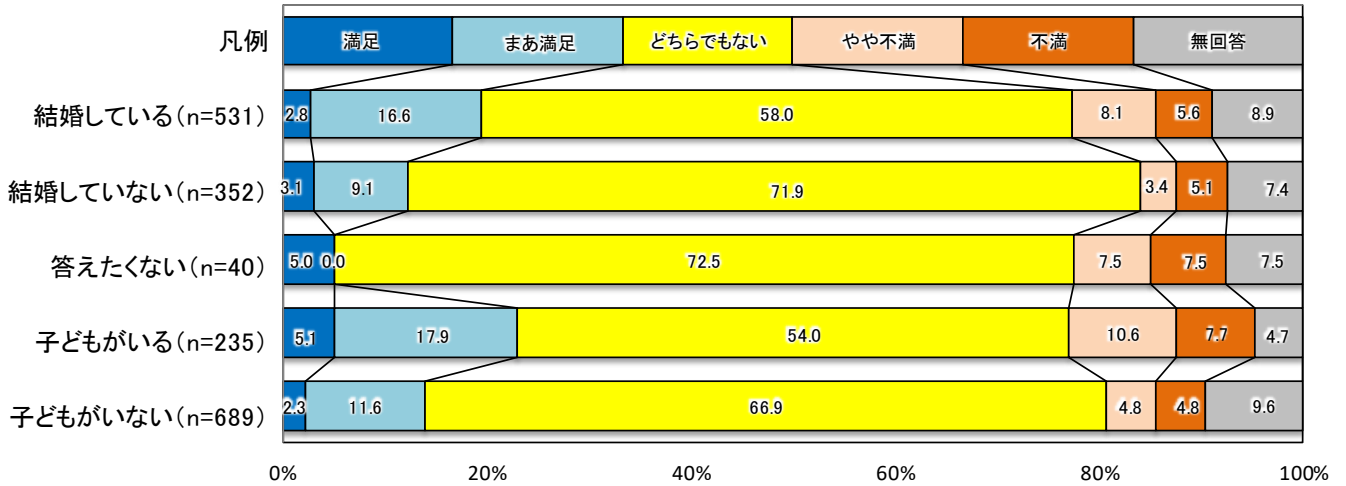
・小児医療体制の充実の重要度について、全ての回答者で「重要」「まあ重要」の合計が最も高くなっているが、特に「子どもがいる」では84.2%と高くなっている。

【小児医療体制の充実×重要度】



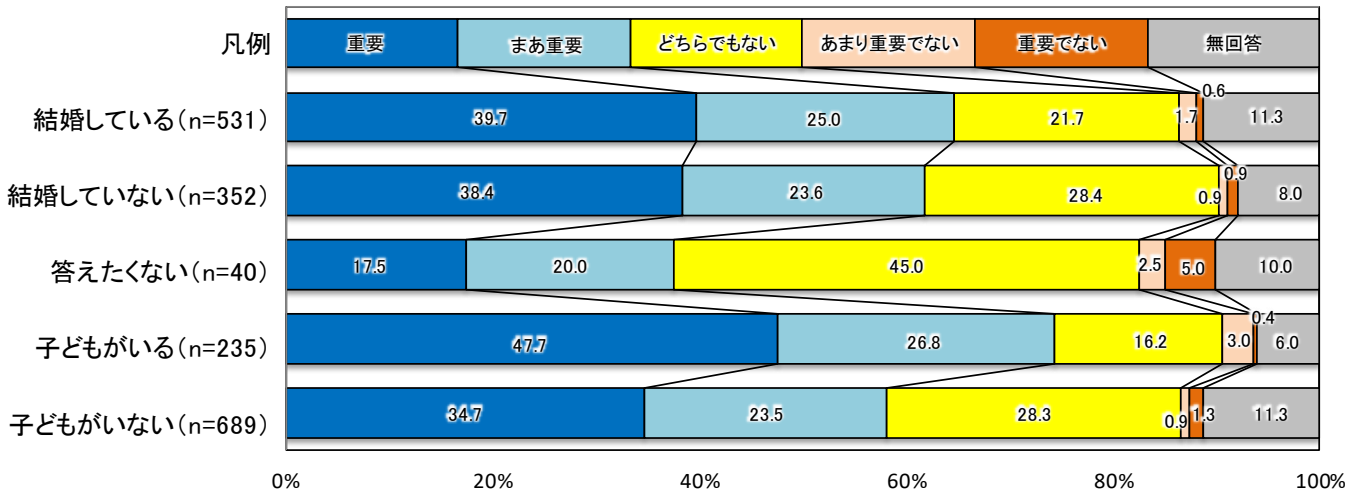
・母子保健事業の満足度について、全ての回答者で「どちらでもない」が最も高くなっている。「子どもがいる」では「満足」「まあ満足」と「不満」「やや不満」の割合がそれぞれ2割前後となっている。

【母子保健事業×満足度】



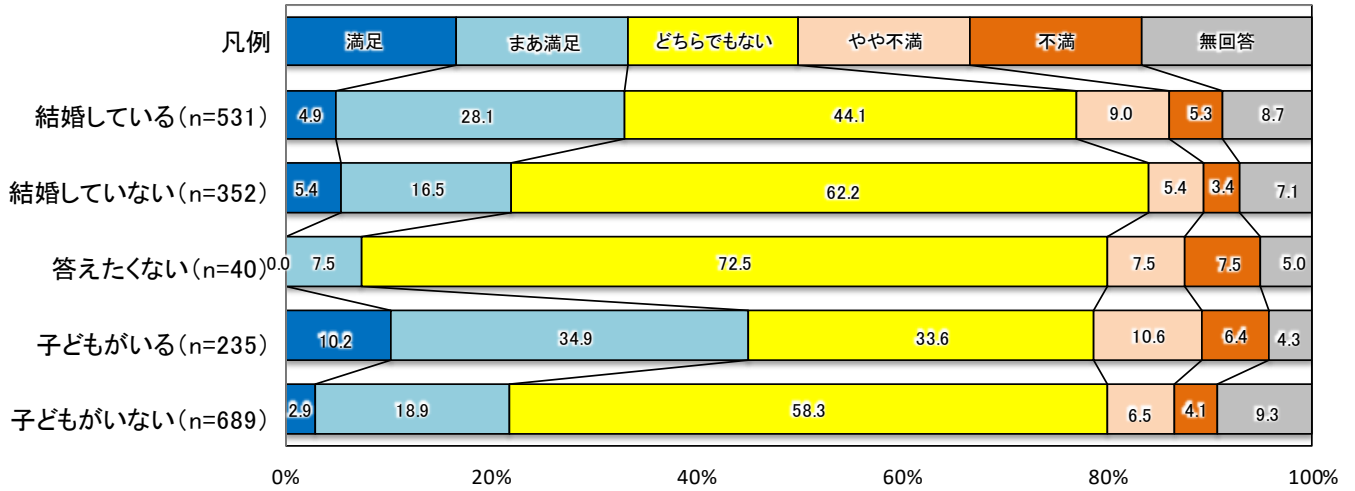
・母子保健事業の重要度について、「答えたくない」を除く全ての回答者で「重要」「まあ重要」の合計が最も高くなっているが、特に「子どもがいる」では74.5%と高くなっている。

【母子保健事業×重要度】



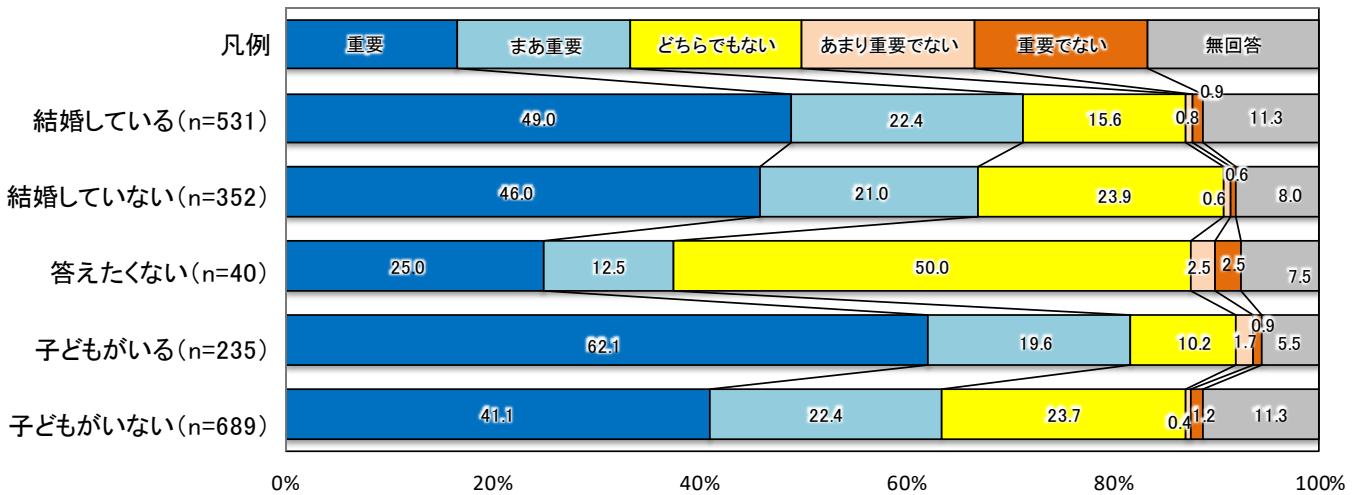
・子育て支援事業の満足度について、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「子どもがいる」45.1%となっている。「子どもがいない」では「どちらでもない」が58.3%と高くなっている。

【子育て支援事業×満足度】

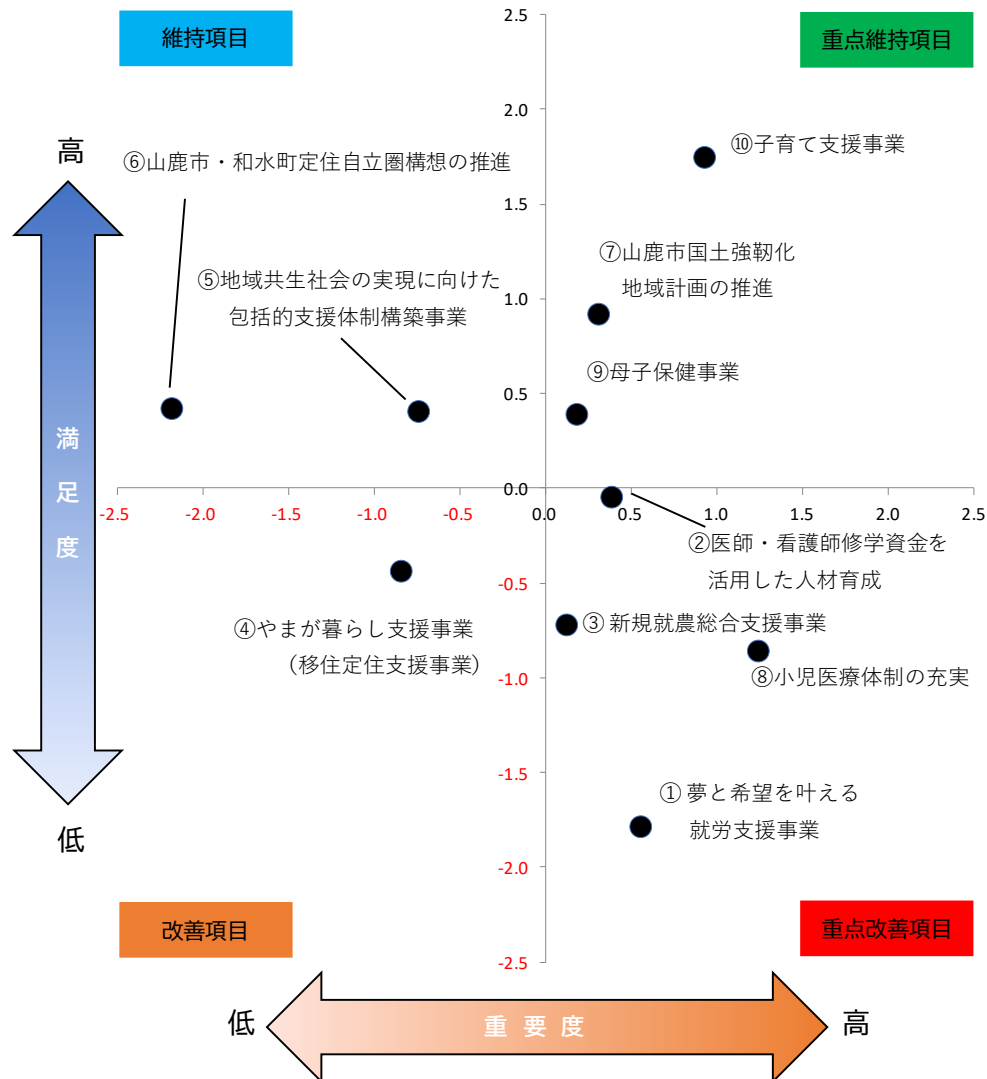


・子育て支援事業の重要度について、「答えたくない」を除く全ての回答者で「重要」「まあ重要」の合計が最も高くなっており、特に「子どもがいる」では81.7%と高くなっている。

【子育て支援事業×重要度】



人口政策における満足度及び重要度の相関図



	重要度	満足度	象限
⑥ 山鹿市・和水町定住自立圏構想の推進	-2.178	0.416	維持項目
④ やまが暮らし支援事業(移住定住支援事業)	-0.834	-0.439	改善項目
⑤ 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業	-0.733	0.404	維持項目
③ 新規就農総合支援事業	0.123	-0.727	重点改善項目
⑨ 母子保健事業	0.183	0.385	重点維持項目
⑦ 山鹿市国土強靱化地域計画の推進	0.316	0.916	重点維持項目
② 医師・看護師修学資金を活用した人材育成	0.390	-0.050	重点改善項目
① 夢と希望を叶える就労支援事業	0.561	-1.786	重点改善項目
⑩ 子育て支援事業	0.928	1.739	重点維持項目
⑧ 小児医療体制の充実	1.244	-0.859	重点改善項目

※数値は各項目の重要度、満足度それぞれの平均値を平均0、分散1となるように正規化

【維持項目】 満足度こそ高いものの、重要度は低い項目。

【改善項目】 満足度と重要度ともに低い項目。

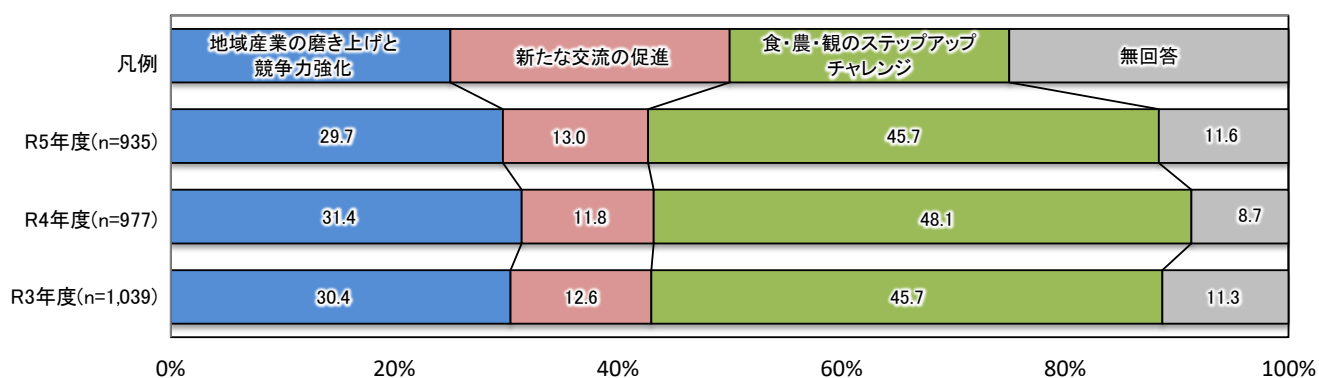
【重点維持項目】 重要度も満足度も高い項目。

【重点改善項目】 重要度が高いにもかかわらず市民から満足されていない項目。

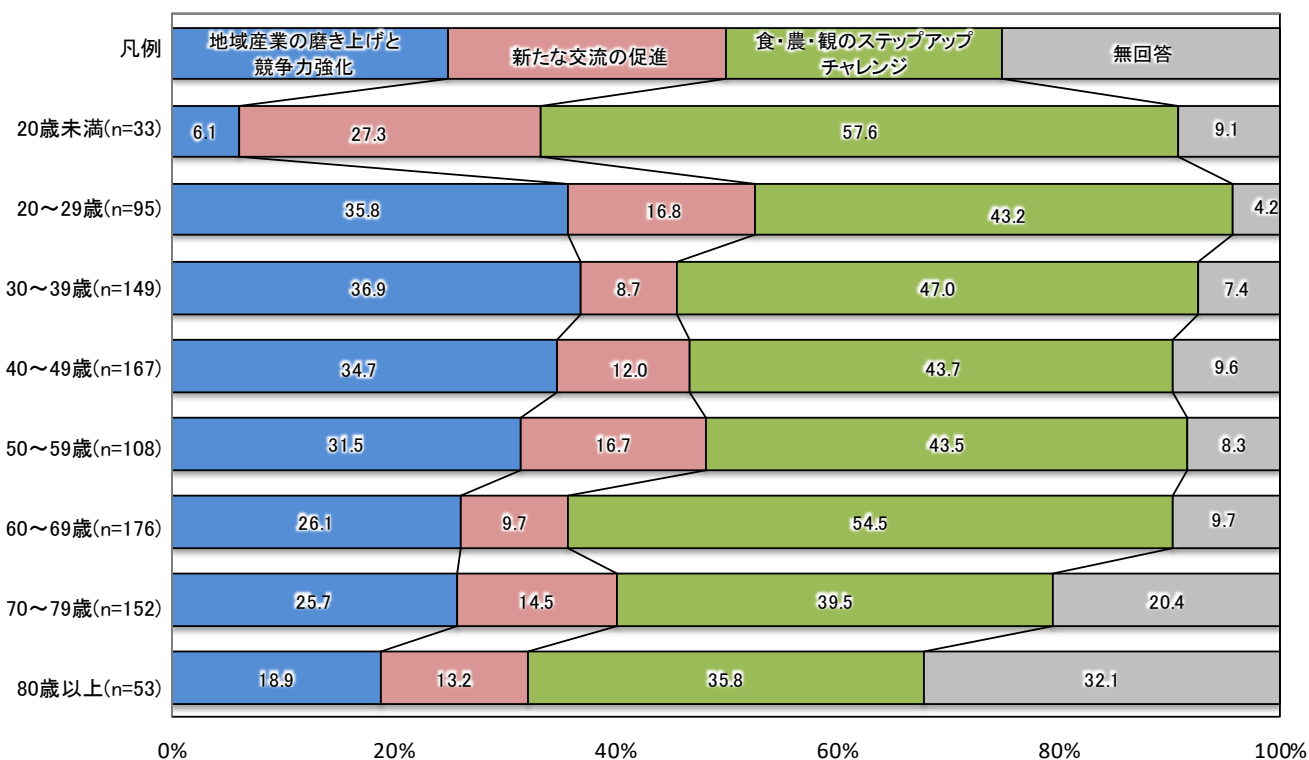
経済政策について（充実して欲しい取組）

- ・ 経済政策で充実して欲しい取組については、「食・農・観のステップアップチャレンジ」の割合が 45.7%と最も高く、次いで「地域産業の磨き上げと競争力強化」29.7%、「新たな交流の促進」13.0%となっている。R4年度と比較しても大きな差はない。
- ・ 年代別では、20歳未満で「食・農・観のステップアップチャレンジ」の割合が 57.6%と他の年代より高くなっている。また「新たな交流の促進」の割合でも他の年代より高くなっている。

【問 12 山鹿市総合戦略における、経済政策で
もっとも充実して欲しい取組について】(全体)



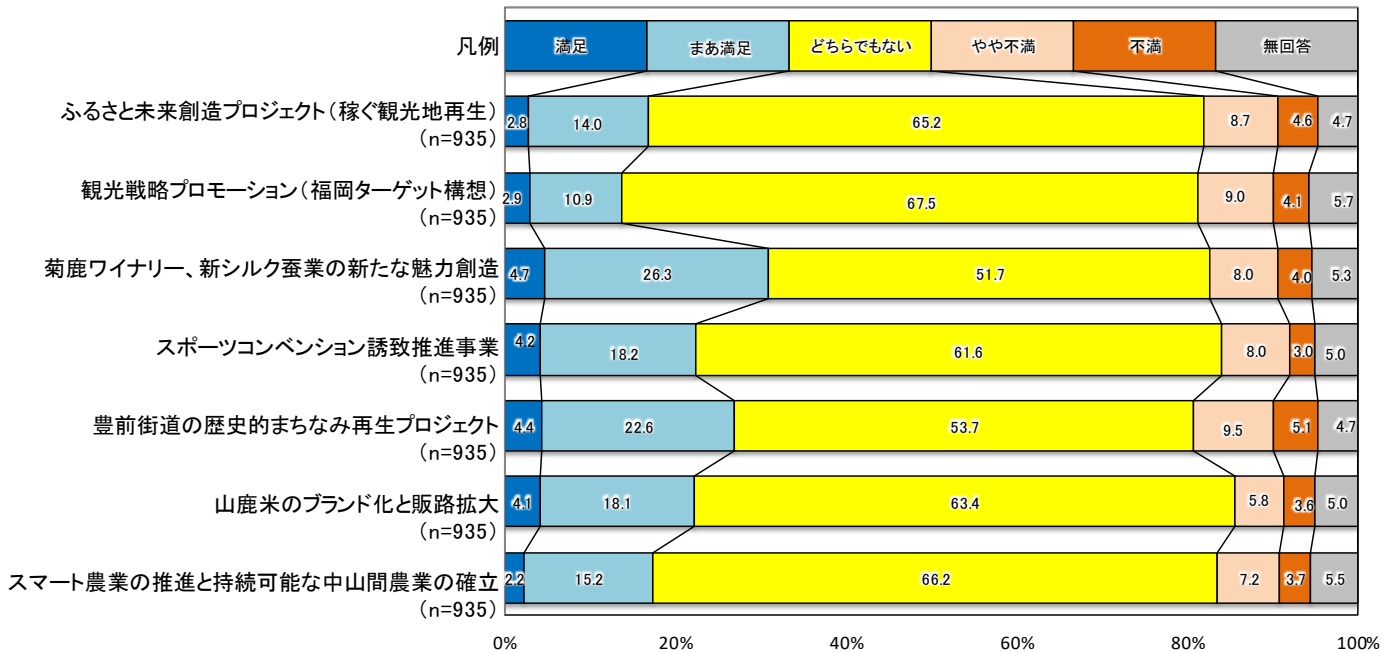
【問 12 山鹿市総合戦略における、経済政策で
もっとも充実して欲しい取組について】(年代別)



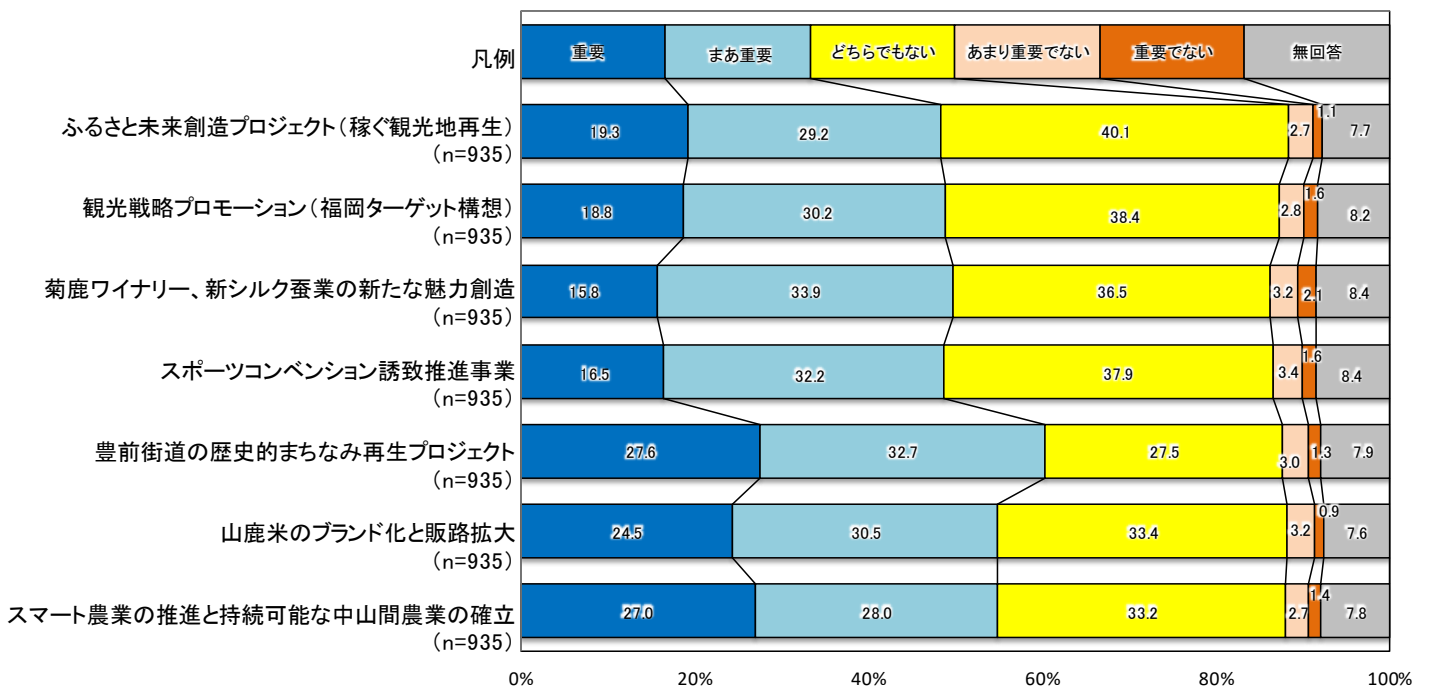
経済政策について（満足度と重要度）

- ・ 経済政策の満足度について、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「菊鹿ワイナリー、新シルク蚕業の新たな魅力創造」の31.0%となっている。「やや不満」「不満」の合計が最も高いのは「豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト」の14.6%となっている。
- ・ 経済政策の重要度について、全ての項目で「重要」「まあ重要」の合計が5割前後と高く、その中でも「豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト」は60.3%で最も高い。

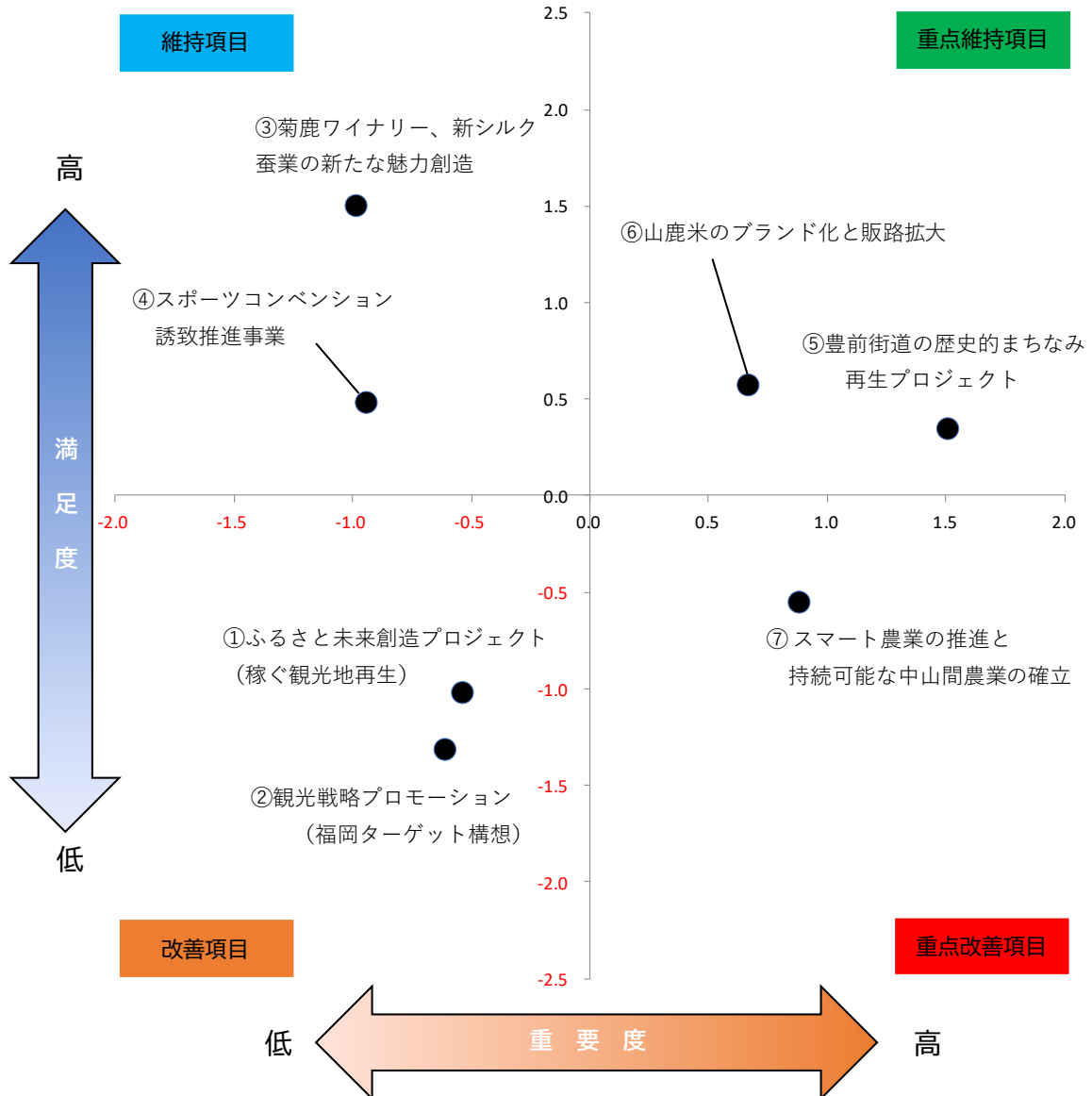
【問13 山鹿市で取り組んでいる経済政策の満足度】



【問13 山鹿市で取り組んでいる経済政策の重要度】



経済政策における満足度及び重要度の相関図



	重要度	満足度	象限
③ 菊鹿ワイナリー、新シルク蚕業の新たな魅力創造	-0.983	1.499	維持項目
④ スポーツコンベンション誘致推進事業	-0.938	0.481	維持項目
② 観光戦略プロモーション(福岡ターゲット構想)	-0.606	-1.316	改善項目
① ふるさと未来創造プロジェクト(稼ぐ観光地再生)	-0.533	-1.020	改善項目
⑥ 山鹿米のブランド化と販路拡大	0.668	0.570	重点維持項目
⑦ スマート農業の推進と持続可能な中山間農業の確立	0.886	-0.555	重点改善項目
⑤ 豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト	1.507	0.342	重点維持項目

※数値は各項目の重要度、満足度それぞれの平均値を平均0、分散1となるように正規化

【維持項目】 満足度こそ高いものの、重要度は低い項目。

【改善項目】 満足度と重要度ともに低い項目。

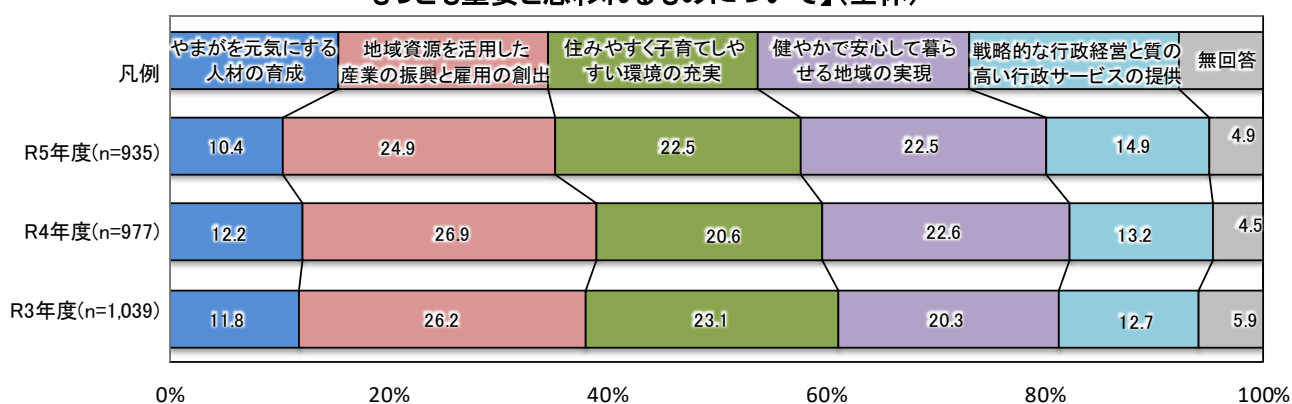
【重点維持項目】 重要度も満足度も高い項目。

【重点改善項目】 重要度が高いにも関わらず市民から満足されていない項目。

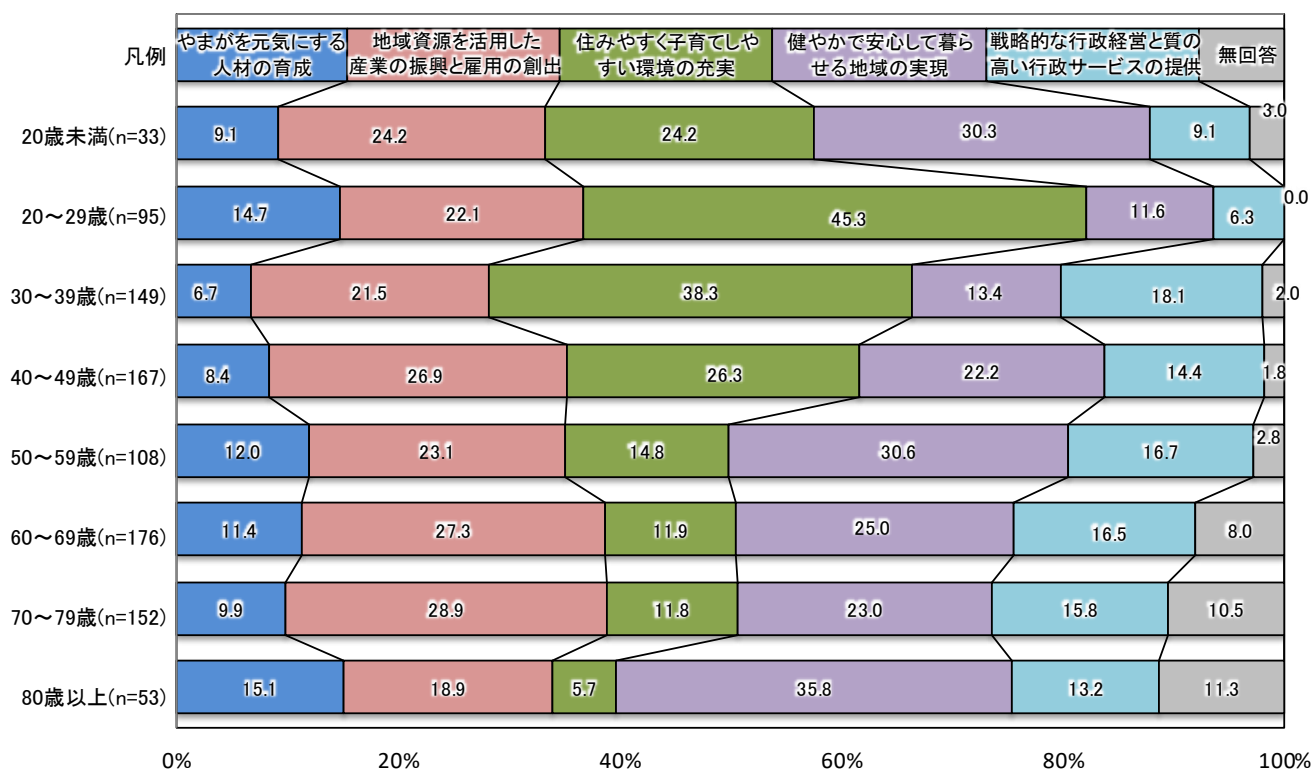
山鹿市総合計画について（将来都市像実現のために重要と思われるもの）

- ・ 将来都市像実現のために重要と思うものについては、「地域資源を活用した産業の振興と雇用の創出」の割合が24.9%と最も高く、次いで「住みやすく子育てしやすい環境の充実」、「健やかで安心して暮らせる地域の実現」の22.5%となっている。R4年度と比較しても大きな差はない。
- ・ 将来都市像実現のために重要と思うものについて、年代別では、20歳未満、50代、80歳以上では「健やかで安心して暮らせる地域の実現」、20代、30代では「住みやすく子育てしやすい環境の充実」、40代、60代、70代では「地域資源を活用した産業の振興と雇用の創出」の割合が最も高くなっている。

【問14 「人輝き飛躍する都市(まち)やまが」実現のために、
もっとも重要と思われるものについて】(全体)



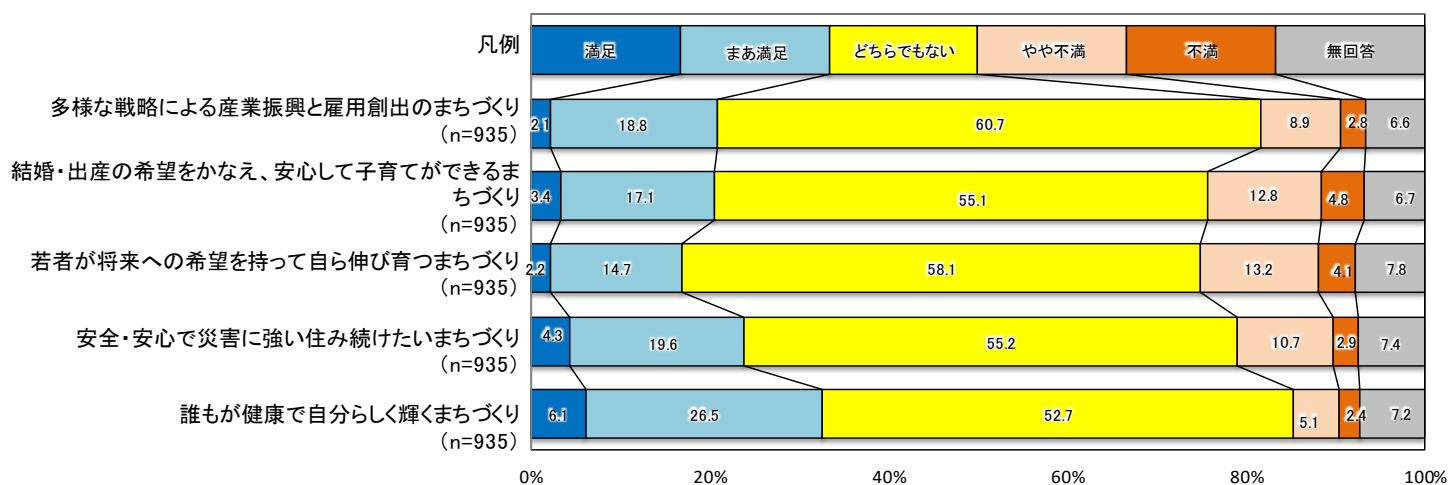
【問14 「人輝き飛躍する都市(まち)やまが」実現のために、
もっとも重要と思われるものについて】(年代別)



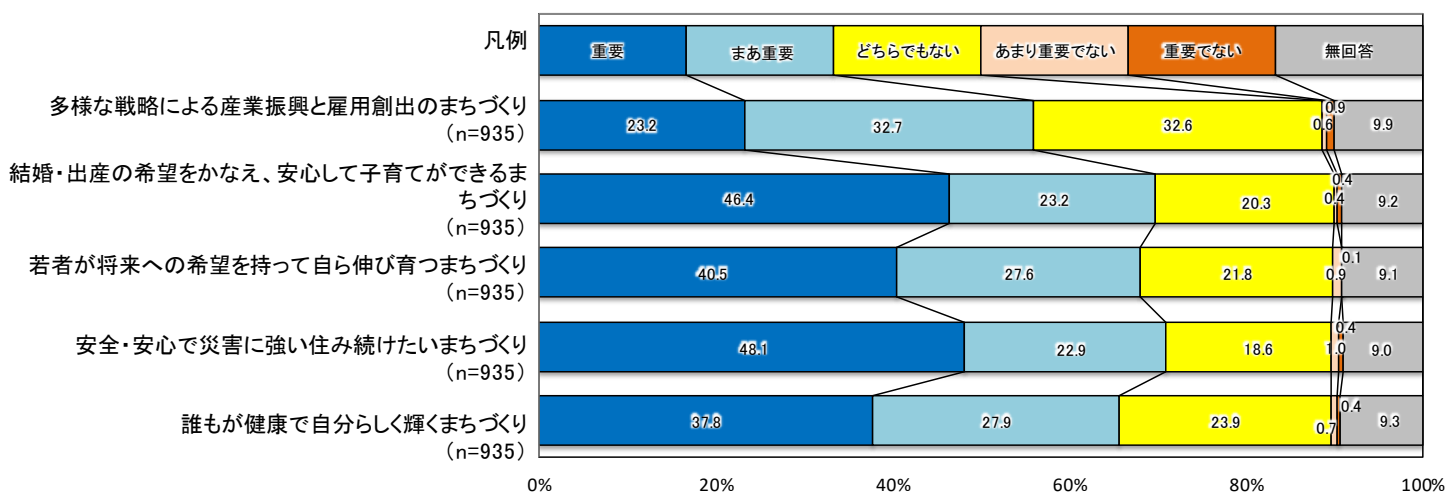
山鹿市総合計画について（満足度と重要度）

- ・ 総合計画の先導施策の満足度について、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「誰もが健康で自分らしく輝くまちづくり」の32.6%となっており、「やや不満」「不満」の合計が最も高いのは「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」の17.6%となっている。
- ・ 重要度について、「重要」「まあ重要」の合計が最も高いのは「安全・安心で災害に強い住み続けたいまちづくり」の71.0%となっており、全ての項目で「あまり重要でない」「重要でない」の合計は1割前後となっている。

【問15 山鹿市で取り組んでいる山鹿市総合計画の先導施策の満足度】

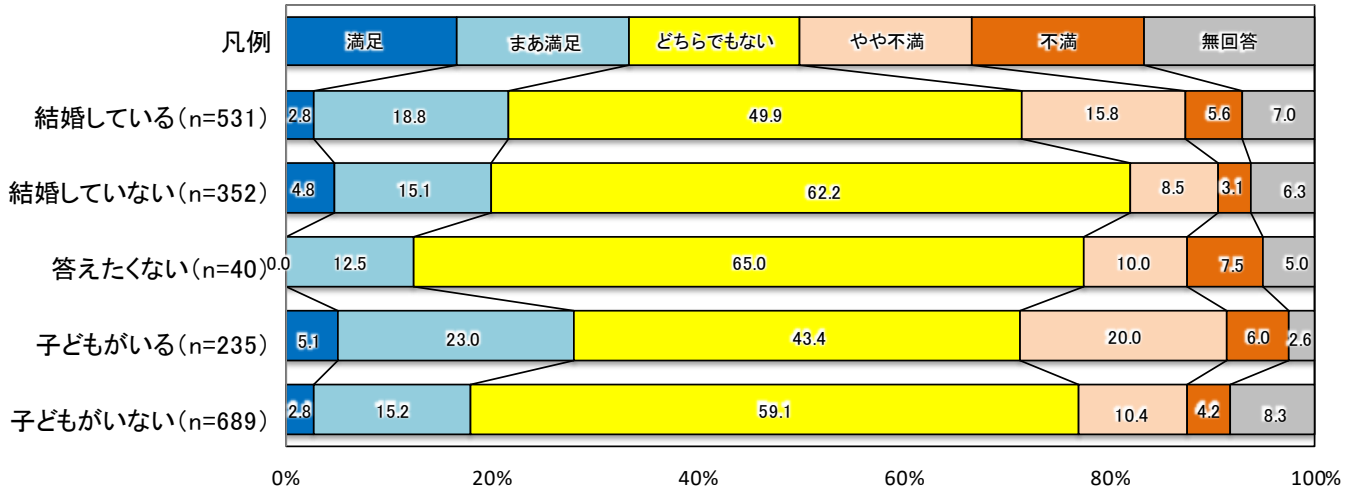


【問15 山鹿市で取り組んでいる山鹿市総合計画の先導施策の重要度】



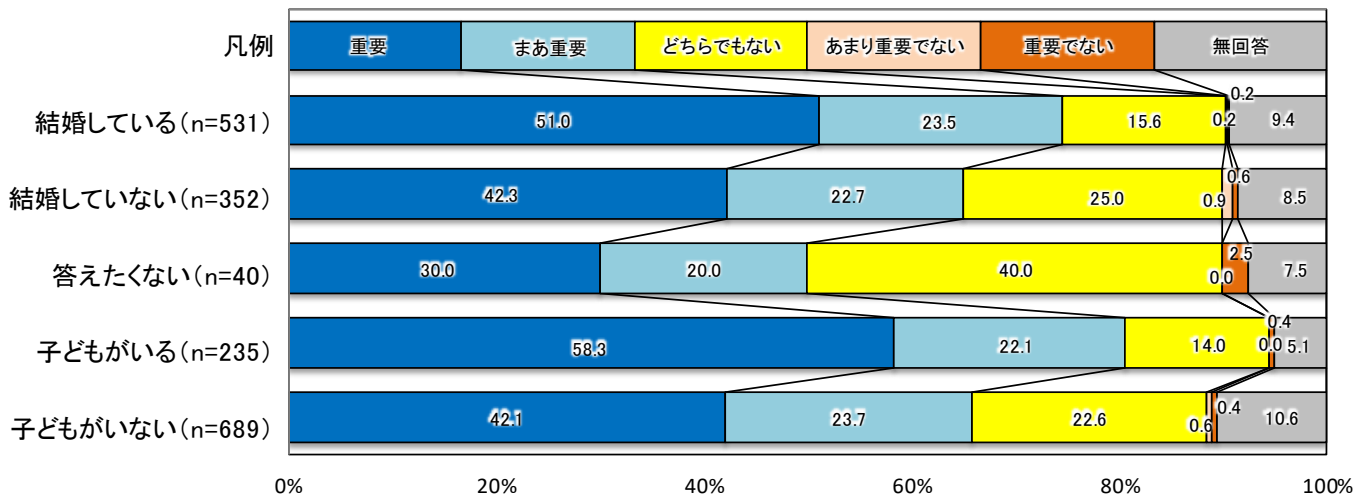
・結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくりの満足度について、「子どもがいる」では「満足」「まあ満足」の合計が28.1%、「やや不満」「不満」の合計が20.6%と満足・不満足のどちらの割合においても最も高くなっている。

【結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり×満足度】

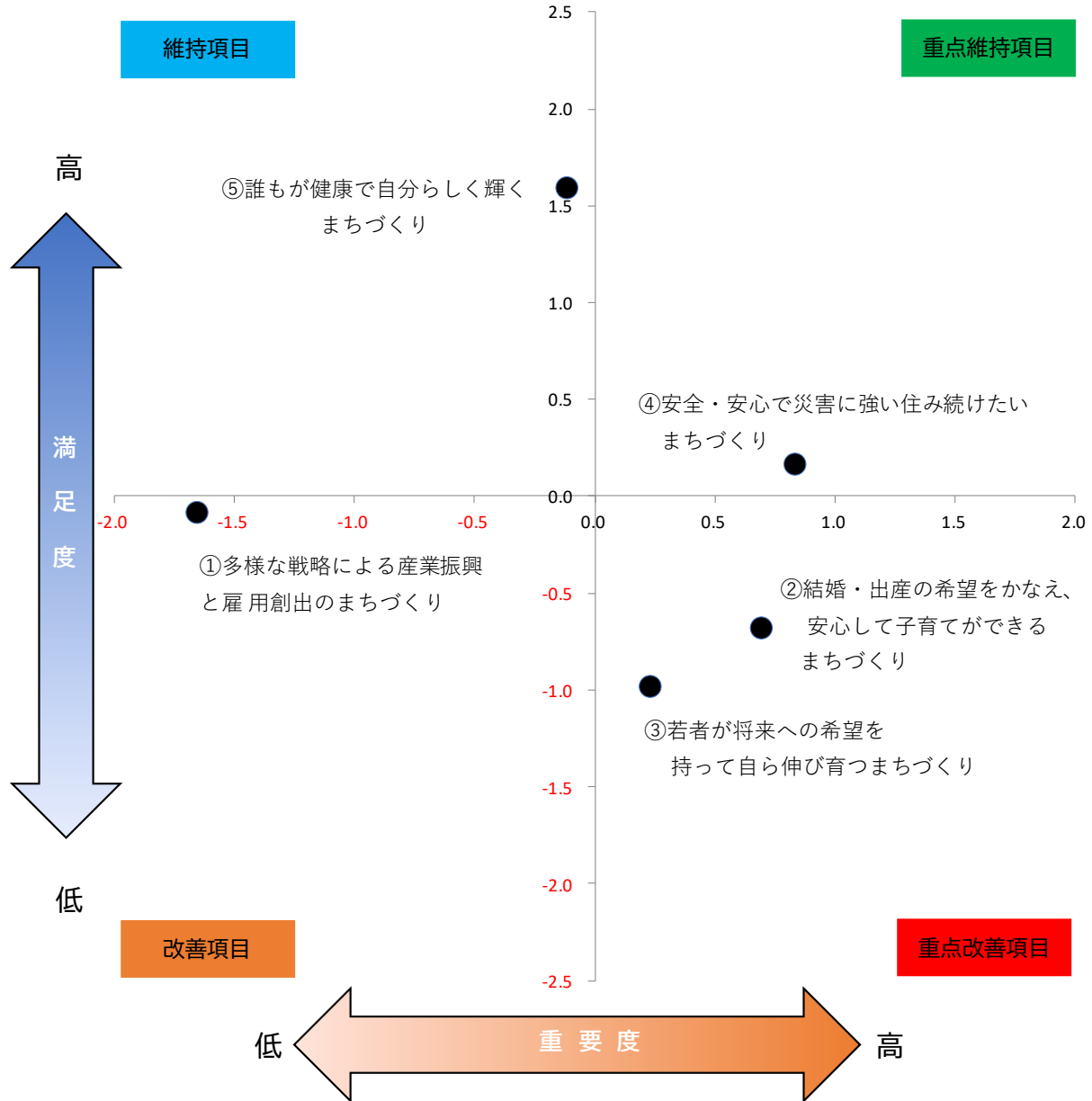


・結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくりの重要度について、全ての回答者で「重要」「まあ重要」の合計が最も高くなっているが、特に「子どもがいる」では80.4%で高くなっている。

【結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり×重要度】



山鹿市総合計画(先導施策)における満足度及び重要度の相関図



	重要度	満足度	象限
① 多様な戦略による産業振興と雇用創出のまちづくり	-1.657	-0.090	改善項目
⑤ 誰もが健康で自分らしく輝くまちづくり	-0.113	1.591	維持項目
③ 若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり	0.235	-0.984	重点改善項目
② 結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり	0.695	-0.681	重点改善項目
④ 安全・安心で災害に強い住み続けたいまちづくり	0.839	0.165	重点維持項目

※数値は各項目の重要度、満足度それぞれの平均値を平均0、分散1となるように正規化

【維持項目】 満足度こそ高いものの、重要度は低い項目。

【改善項目】 満足度と重要度ともに低い項目。

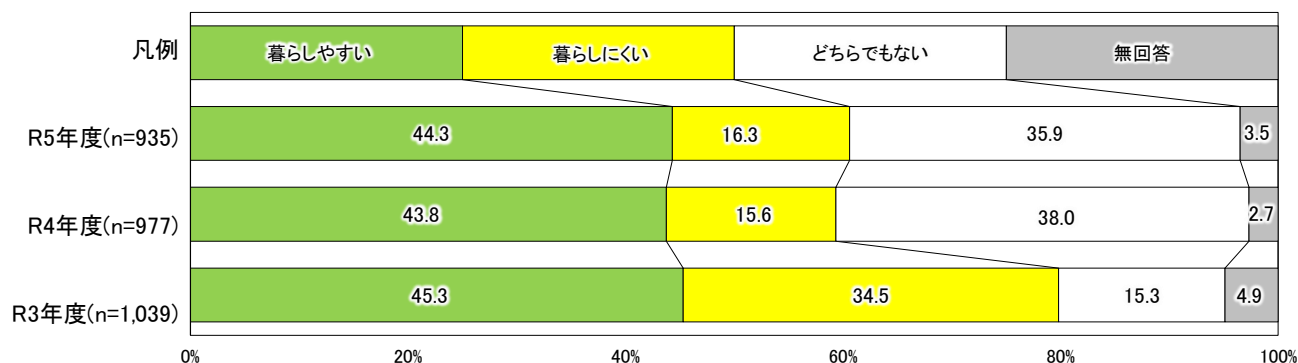
【重点維持項目】 重要度も満足度も高い項目。

【重点改善項目】 重要度が高いにも関わらず市民から満足されていない項目。

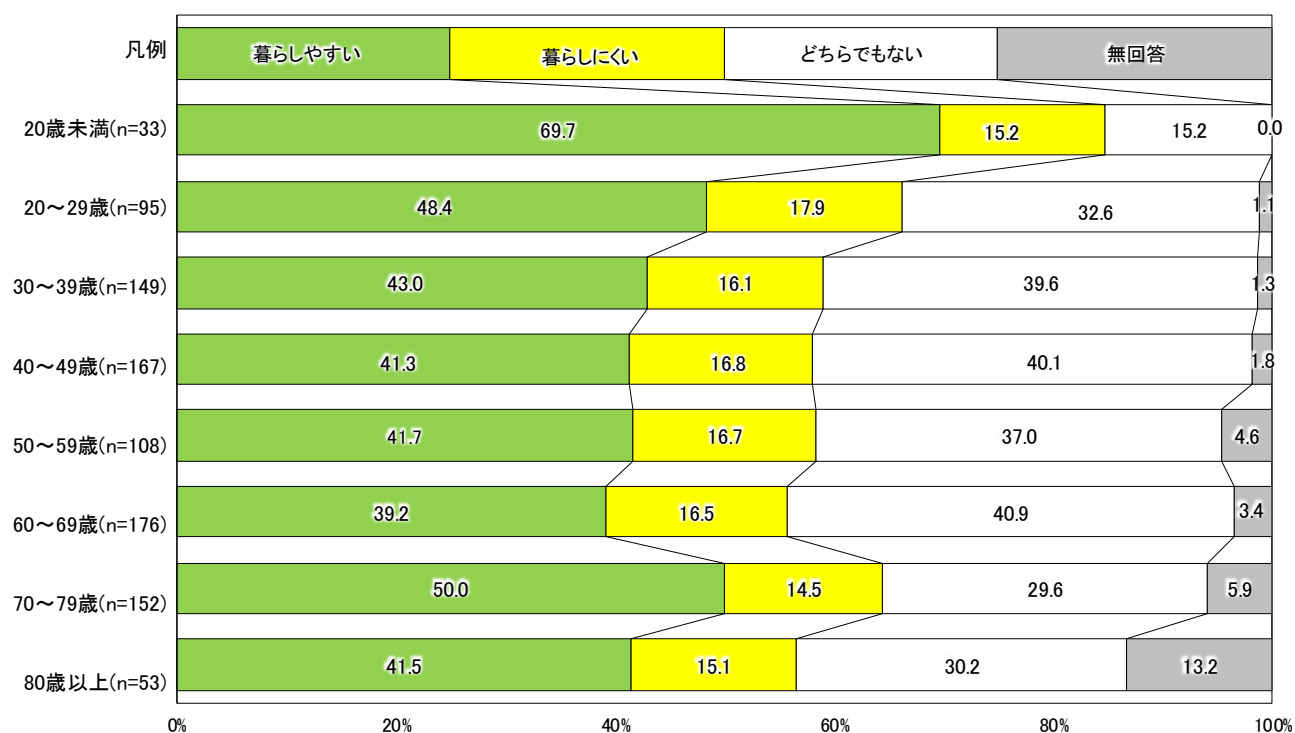
山鹿市に対する考えについて（暮らしやすさ）

- ・ 山鹿市の暮らしやすさについては、「暮らしやすい」が44.3%、「暮らしにくい」が16.3%、「どちらでもない」が35.9%となっている。R4年度と比較しても大きな差はない。
- ・ 年代別では、20歳未満で「暮らしやすい」の割合が69.7%と他の年代よりも高くなっている。「暮らしにくい」の割合は20代が最も高く、17.9%となっている。

【問16 山鹿市は暮らしやすい街だと思いますか】(全体)



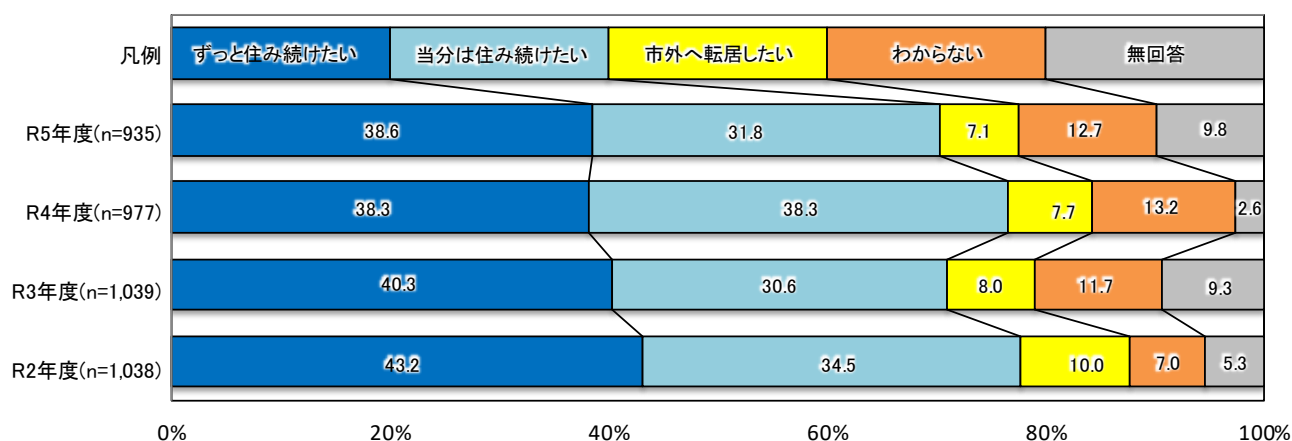
【問16 山鹿市は暮らしやすい街だと思いますか】(年代別)



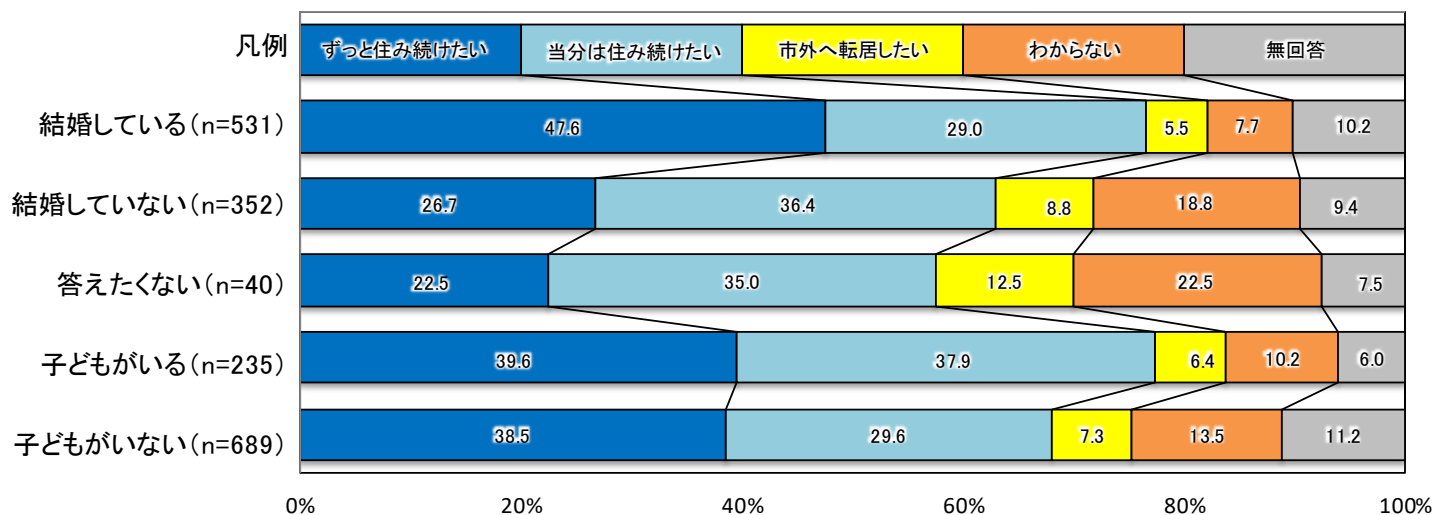
山鹿市に対する考えについて（今後の居住意向）

- ・ 山鹿市での居住意向については、「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」の合計が70.4%で7割の方が住み続けたいと回答している。R4年度と比較すると、「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」の合計の割合が減少し、「市外へ転居したい」もわずかに減少している。
- ・ 子どもの有無別では「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」の合計が子どものいる方の割合の方が高い。結婚の有無別では、「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」の合計が結婚している方の割合が高く、7割を超えている。

【問18 今後も山鹿市に住み続けたいと思いますか】(全体)



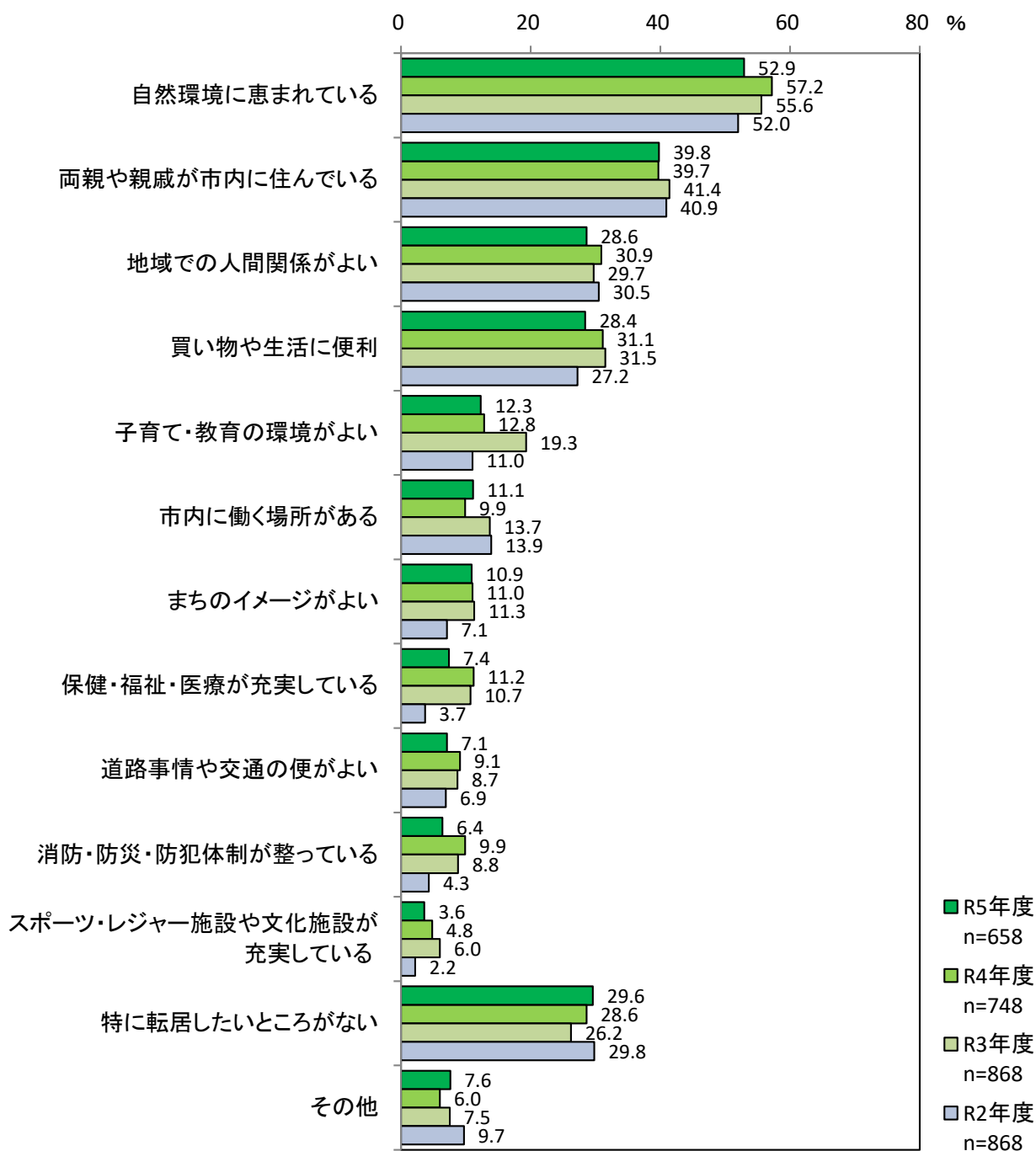
【問18 今後も山鹿市に住み続けたいと思いますか】(結婚の有無・子どもの有無別)



山鹿市に対する考えについて（住み続けたい理由）

- ・「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」と回答した方の理由として、「自然環境に恵まれている」の割合が52.9%と最も高く、次いで「両親や親戚が市内に住んでいる」39.8%、「地域での人間関係がよい」28.6%となっている。
- ・R4年度との比較では、「自然環境に恵まれている」が減少している。
- ・その他の意見として、「温泉がある」「災害が少ないため」「生まれ育った地だから」「持ち家があるから」「ほどよい田舎だから」という意見があった。

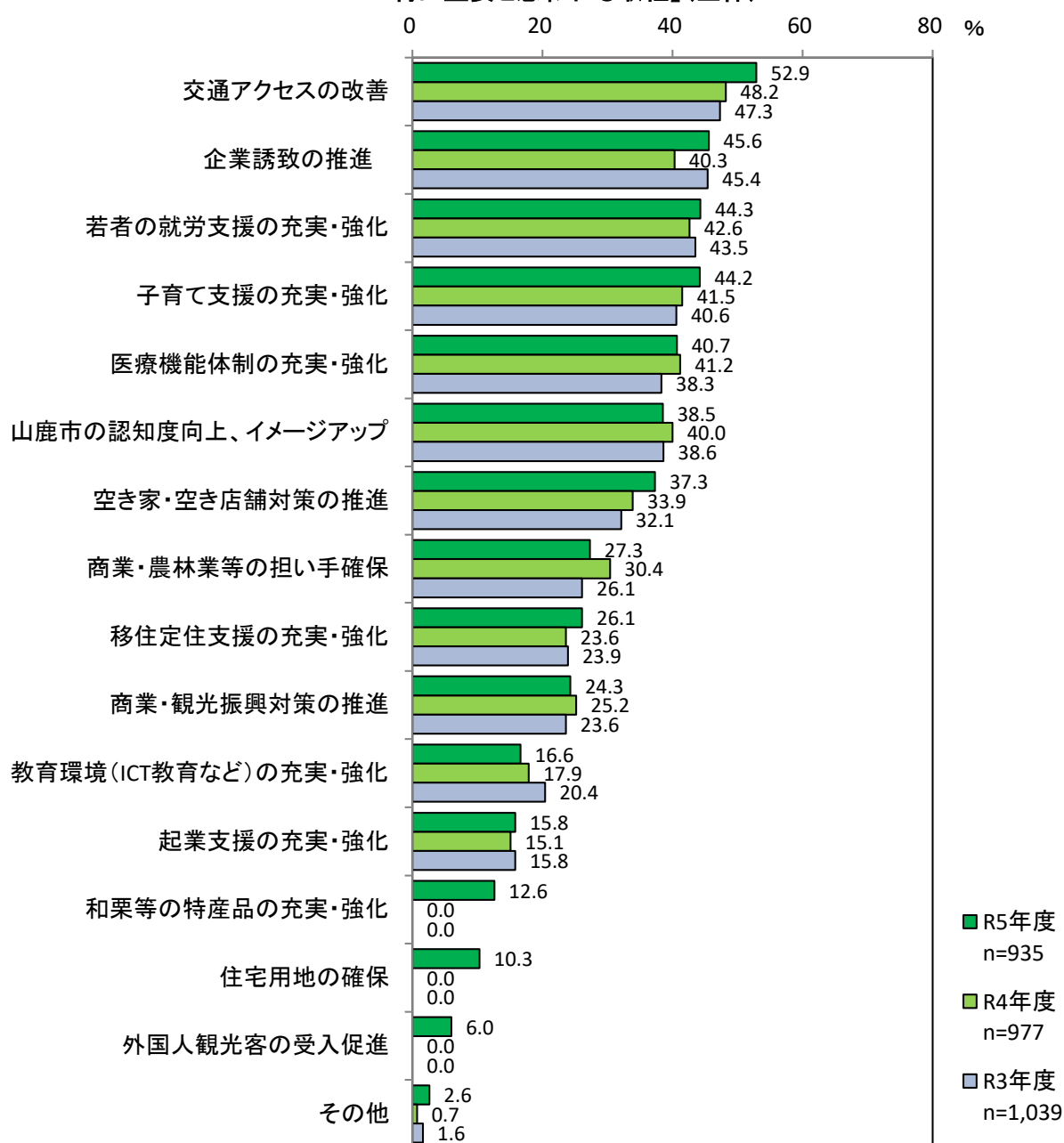
【問18 住み続けたい理由（複数回答）】(全体)



山鹿市に対する考えについて(「選ばれる山鹿」になるための重要な取組)

- ・ 市外在住者や企業に「選ばれる山鹿」になるための重要な取組について、「交通アクセスの改善」が52.9%と最も高く、次いで「企業誘致の推進」45.6%、「若者の就労支援の充実・強化」44.3%、「子育て支援の充実・強化」44.2%となっている。
- ・ その他の意見として、「高齢者介護家族への支援」「公共交通機関の充実・整備等」「上下水道の整備、災害対策の強化」「若者向けのお店が少ないので、お店がもっとあればと思う」「特産品、高齢化対策」「安全性のアピール」「TSMC 関連の企業誘致に全力を尽くす」という意見があった。

【問19 市外在住者や企業に「選ばれる山鹿」になるため、特に重要と思われる取組】(全体)



<山鹿市の現状について>

- ・人口減少については、「危機感がある」が 39.5%、「少し危機感がある」が 34.0%となっており、約7割が危機感を感じている。R4年度と比較しても大きな差はない。
- ・元気度については、前回と同様に、「活気はない」「あまり活気はない」の合計の割合が6割近くとなっている。
- ・農林業の現状についても前回と同様に、「衰退している」「少し衰退している」の合計の割合が6割近くとなっている。
- ・観光産業の現状については、「活気がある」「少し活気がある」の合計が39.5%となり、前回より10ポイント以上増加している。

<人口政策について>

- ・人口政策で充実して欲しい取組については、「安心して子育てできる環境づくり」が28.4%で最も高く、次いで「地域の未来を支える人材の育成・確保」27.6%、「移住定住の促進」18.5%となっている。R4年度と比較しても大きな差はない。
- ・人口政策の満足度について、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「子育て支援事業」の27.6%となっており、これに「小児医療体制の充実」21.9%、「山鹿市国土強靱化地域計画の推進」19.7%が続いている。「小児医療体制の充実」については不満の割合も同程度の24.9%となっている。
- ・重点改善項目（重要度が高いが、満足度が低い）として、「夢と希望を叶える就労支援事業」、「医師・看護師修学資金を活用した人材育成」、「新規就農総合支援事業」、「小児医療体制の充実」が挙げられる。

<経済政策について>

- ・経済政策で充実して欲しい取組については、「食・農・観のステップアップチャレンジ」の割合が45.7%と最も高く、次いで「地域産業の磨き上げと競争力強化」29.7%、「新たな交流の促進」13.0%となっている。R4年度と比較しても大きな差はない。
- ・経済政策の満足度について「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「菊鹿ワイナリー、新シルク蚕業の新たな魅力創造」の31.0%となっている。
- ・経済政策の重要度について、全ての項目で「重要」「まあ重要」の合計が5割前後と高く、その中でも「豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト」は60.3%で最も高くなっている。
- ・重点改善項目（重要度が高いが、満足度が低い）としては、「スマート農業の推進と持続可能な中山間農業の確立」が挙げられる。

<山鹿市総合計画について>

- ・ 将来都市像実現のために重要と思うものについては、「地域資源を活用した産業の振興と雇用の創出」の割合が 24.9%と最も高く、次いで「住みやすく子育てしやすい環境の充実」「健やかで安心して暮らせる地域の実現」22.5%となっている。R4 年度と比較しても大きな差はない。
- ・ 総合計画の先導施策の満足度についてみると、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「誰もが健康で自分らしく輝くまちづくり」の 32.6%、「やや不満」「不満」の合計が最も高いのは「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」の 17.6%となっている。
- ・ 重要度については、「安全・安心で災害に強い住み続けたいまちづくり」の割合が 71.0%と最も高くなっている。
- ・ 重点改善項目（重要度が高いが、満足度が低い）としては、「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てできるまちづくり」、「若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり」が挙げられる。

<山鹿市に対する考えについて>

- ・ 山鹿市の暮らしやすさについては、「暮らしやすい」が 44.3%、「暮らしにくい」が 16.3%、「どちらでもない」が 35.9%となっている。R4 年度と比較しても大きな差はない。
- ・ 「ずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」の合計が 70.4%で 7 割の方が住み続けたいと回答している。R4 年度と比較すると、「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」の割合が減少し、「市外へ転居したい」もわずかに減少している。
- ・ 「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」と回答した方の理由としては、「自然環境に恵まれている」の割合が 52.9%で最も高く、次いで「両親や親戚が市内に住んでいる」39.8%、「地域での人間関係がよい」28.6%となっている。R4 年度との比較では、「自然環境に恵まれている」が減少している。
- ・ 市外在住者や企業に「選ばれる山鹿」になるための重要な取組について、「交通アクセスの改善」が 52.9%と最も高く、次いで「企業誘致の推進」45.6%、「若者の就労支援の充実・強化」44.3%、「子育て支援の充実・強化」44.2%となっている。